

○歯科保存学 1 : 622-3-DP1・DP3・DP4・DP5・DP6・DP7

年次	学期	学則科目責任者
3年次	通年	*小峯 千明 (保存修復学)

学修目標 (G I O) と単位数	<p>・単位数：7単位</p> <p>・学修目標 (G I O) : 歯科保存学は、う蝕、歯髄疾患および歯周病などに陥った歯および歯を支える歯周組織の治療を行い、本来有している口腔機能を維持・回復するための治療学であり、それらの疾患に罹患しないように予防する学問である。歯科保存学は、保存修復学、歯内療法学および歯周治療学の3つの学問からなり、これらが有機的に連携することで、歯および歯周組織の機能の維持を図ることができる。保存治療は日常臨床で、高頻度に行われることから、歯、歯周組織の機能を維持するためには、3つの学問を連携して学ぶ必要がある。</p> <p>臨床では、患者の訴え（疼痛、腫脹、動揺など）を聞き取る医療面接から始まり、訴えの原因や病態を探る検査を経て診断および処置方針の決定し、処置がされ、さらに経過観察、機能維持へと進行する。これらが適切に進行するように、歯科保存学の知識、技能を習得する。</p> <p>臨床学科目である歯科保存学を習得するための正常な組織の形態と機能、原因に対する生体の反応、また、治療に用いる材料など今までに学んだ事項と臨床を連携する歯科保存学の総論領域と、保存修復学、歯内療法学、歯周治療学の各論領域から構成される。</p>
評価方法 (E V)	<p>1. 保存修復学：授業は平常試験を前期3回、後期3回の計6回実施し、成績評価の70%とする。平常試験は、正当な理由がある場合のみ追試験を行う。追試験の成績評価は学修便覧に準ずる。平常試験の再試験および追試験の追再試験は行わない。</p> <p>実習は、受講態度（20%）、実習ポストテスト（20%）、実技試験（2回実施、30%）および実習口頭試問（2回実施、30%）により評価し成績評価の30%とする。したがって、実習を欠席した場合、必ず追実習願を提出し、欠席した実習に関して指示を仰ぐこと。なお、正当な理由がある場合のみ実習実技試験と実習口頭試問の追試験を行う。追試験の追試験は行わない。</p> <p>授業時間数から勘案し、60%を保存修復学の成績割合とする。</p> <p>2. 歯内療法学（平常試験2回）の総合評価とする。平常試験は原則的に追再試験は実施しない（公欠の場合を除く）。授業時間数から勘案し、7%を歯内療法学の成績割合とする。</p> <p>3. 歯周治療学（平常試験2回、実習実技試験1回実施）の総合評価とする。平常試験は、原則的に再試験は行わない。授業時間数から勘案し、33%を歯周治療学の成績割合とする。</p> <p>4. 授業および実習それぞれに対して4/5を超えた出席を必要とする。授業または実習を1/5以上欠席した者は、授業の平常試験または実習実技試験のそれぞれの再試験受験資格を喪失する。</p>

歯周治療学

年次	学期	学修ユニット責任者
3年次	通年	*中山 洋平 (歯周治療学)

学修ユニット学修目標 (G I O)	<p>2016年の歯科疾患実態調査の結果、8020達成者は51.2%で、2011年の40.2%から急増した。4 mm以上の歯周ポケットを有する者の割合は年齢が増すにつれて高い傾向を示し、45歳以上では50%以上を占め、全年齢層の約40%に歯肉出血が認められる。8020達成者の増加からも、歯周病に罹るリスクを有する歯の数が増加している。さらに歯周病は、糖尿病を含む様々な全身疾患と関連する生活習慣病であることから、その予防と治療の社会的意義はきわめて大きい。そのため、一生自分の歯で美味しく食事ができるような良好な口腔環境が維持できるように、歯周病を予防または治療することを目的とする。重度慢性歯周炎または侵襲性歯周炎では、歯の動揺や移動、歯肉の腫れや痛みを伴うことから、適切な歯周病検査の実施および診断、治療計画の立案と歯周基本治療および歯周外科治療を行うことが要求される。そのために、歯周治療学の知識、技能を習得する。4年次では、歯周外科治療、メインテナンスおよびサポータティブペリオドンタルセラピーについて学び、次年度の臨床実習に向け、知識や問題解決について理解することを目的とする。</p>
担当教員	<p>*中山 洋平、*高井 英樹、*高井 瑞穂、*山口 亜利彩、*齋藤 由未、*武田 萌、*守屋 叡、*小鹿山 希、*坂本 昌之、*山田 憲、福井 優、堀部 和俊、堂東 聖、鈴木 真名、若林 健史、五十嵐 一馬、五十嵐 尚美、新井 政人、荒木 正大、池田 寛、岩井 泰伸、岩佐 俊夫、岡野 千春、加藤 直子、金子 博寿、金 東淳、北澤 伊、齋藤 綾一朗、佐々木 庸子、澁川 直也、*鶴屋 祐人、中嶋 祐、能田 佳佑、古瀬 信久、*松村 浩禎、*目澤 優、*山之内 文彦、*横田 祐司</p>
教科書	<p>臨床歯周病学 第3版 村上伸也ほか 医歯薬出版 歯周治療学実習帳 歯周治療学講座編</p>
参考図書	<p>ザ・ペリオドントロジー 第4版 沼部幸博ほか 永末書店 歯周外科 見て学んではじめるガイド 小方頼昌 編著 クインテッセンス出版 ライチャークカラーアトラス歯周病学 第3版 日本臨床歯周病学会 永末書店 コーエン審美再建歯周外科カラーアトラス 鴨井久一ほか 西村書店</p>
実習器材	<p>顎歯模型、歯周外科治療用器具一式</p>

評価方法 (E V)	平常試験2回、実習実技試験1回の平均とする。原則的に再試験は実施しない。実習を欠席した場合(公欠含む)、追実習は行わない。 正当な理由(公欠)により実習(実技)試験を欠席した場合、追実習(実技)試験を受けること。しかし、実習を1/3以上欠席した者は、いかなる理由による欠席でも追実習(実技)試験受験資格を喪失する。
学生へのメッセージ オフィスアワー	歯周治療は歯科臨床の基礎であり、日常臨床では高頻度で行われる。そのため、適切な診断、治療が行えるように、基礎医学から臨床まで系統だった講義を行う。日頃から授業前後の勉強を欠かさずすることが不可欠です。実習では、臨床の場を想定して主にファントム(マネキン)実習を行う。したがって、頭髮、爪、服装など歯科医療人として清潔な身だしなみを常に心がけて実習に臨むこと。講義、実習で、不明なところはそのままにせず積極的に質問すること。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/09/09 (水) 3時限 13:10~14:40	歯周治療学① 総論、正常歯周組織、歯周組織の構造と機能	<p>【授業の一般目標】 正常歯周組織の形態学的特徴および生理学、生化学的特徴を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 正常歯周組織の各部の名所を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：基礎科目で学習した、歯周組織の解剖学的、生理的、生化学的特徴を再度学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：授業時配布のプリントで復習する。 事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 303教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 5 歯と歯周組織の構造 イ 組織と性状 b 歯周組織</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生及び構造と機能 ⑥歯周組織の発生、構造及び機能を説明できる。</p>	*中山 洋平
2026/09/16 (水) 3時限 13:10~14:40	歯周治療学② 歯周病の疫学、歯周病の罹患状況	<p>【授業の一般目標】 疫学的調査により歯周病の罹患状況を理解する。 疫学的評価法を学ぶ。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯科の2大疾患と歯周病の罹患状況を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：歯周病と他の歯科疾患の罹患率について学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：授業時配布のプリントで復習する。 事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 303教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 2 口腔・顎顔面領域の疾患の病因・病態 ア 主な病因・病態 b 歯・歯周組織の疾患</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 ③歯周疾患の病因と病態を説明できる。</p>	*中山 洋平
2026/09/30 (水) 3時限	歯周治療学③ 歯周病の病因と成り	<p>【授業の一般目標】 歯周疾患における歯周病原菌(バイオフィルム)の病原性と炎症反応を背景と</p>	*高井 英樹

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
13:10~14:40	立ち、プラークと歯石、バイオフィルム、歯周病における微生物の役割、病原メカニズム	<p>して、宿主因子（局所、全身）および環境因子を列挙して説明できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. プラークと歯石の構造と臨床的意味を理解する。 3. 歯周疾患の細菌因子を説明できる。 4. 歯周疾患の宿主因子を説明できる。 5. 歯周疾患の環境因子を説明できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>事前学習項目：プラークと歯石、歯周病原菌について学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：授業時配布のプリントで復習する。 事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング無 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>303教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ア 歯周疾患の病因と病態 a 歯肉病変とそのリスクファクター</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 ④口腔細菌、プラーク（口腔バイオフィルム）及び歯石を説明できる。</p>	*高井 英樹
2026/10/07 (水) 3時限 13:10~14:40	歯周治療学④ 歯周病の症状と徴候、歯周組織検査①、歯周病の画像診断、歯肉の炎症、歯の動揺、骨吸収、歯周ポケット、アタッチメントレベル	<p>【授業の一般目標】</p> <p>歯周病の臨床像について理解し、その症状を学ぶ。歯周病検査、歯周病の画像診断、歯肉の炎症、歯の動揺、骨吸収、歯周ポケットおよびアタッチメントレベルについて学ぶ。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯周病の症状と特徴を説明できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>事前学習項目：歯周病の臨床像について学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：授業時配布のプリントで復習する。 事後学習時間：20分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング無 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>303教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学総論 総論Ⅵ 検査 1 口腔検査・顎口腔機能検査 ア 口腔検査 c 歯周組織（歯周病）検査</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 ②歯周疾患の検査法、診断及び治療方針（メインテナンス法を含む）を説明できる。</p>	*高井 瑞穂
2026/10/14 (水) 3時限 13:10~14:40	歯周治療学⑤ 歯周病の病態と病変の進行、歯周病の臨床像、歯周病の分類	<p>【授業の一般目標】</p> <p>歯周病の臨床所見を理解し、分類とその特徴について学ぶ。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯周病の臨床所見と分類を説明できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>事前学習項目：歯周病の臨床所見について事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：授業時配布のプリントで事後学習を行う。 事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング無</p>	*高井 英樹

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/10/14 (水) 3時限 13:10～14:40	歯周治療学⑤ 歯周病の病態と病変の進行、歯周病の臨床像、歯周病の分類	<p>板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 303教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 2 診察、検査、診断 ウ 診断</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 ③歯周疾患の病因と病態を説明できる。</p>	*高井 英樹
2026/10/21 (水) 3時限 13:10～14:40	歯周治療学⑥ 歯周基本治療、根分岐部病変、歯内歯周病変	<p>【授業の一般目標】 根分岐部病変の原因と治療について理解する。 歯内歯周病変について学ぶ。 歯周治療の流れを説明できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 根分岐部病変と歯内歯周病変の分類について説明できる。 3. 歯周基本治療で実施する項目を列挙できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：根分岐部病変および歯内歯周病変の分類を事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：授業時配布のプリントで事後学習を行う。 事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 303教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 b 歯周基本治療</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 g 根分岐部病変の治療</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3)-(3) 歯周疾患の診断と治療 ③歯周治療の術式と適応症を説明できる。</p>	*武田 萌
2026/10/28 (水) 3時限 13:10～14:40	歯周治療学⑦ 咬合と歯周病、歯の動揺と移動、歯肉の増殖と退縮、歯根露出、知覚過敏症への対応	<p>【授業の一般目標】 咬合性外傷の原因と病変の進行について学ぶ。歯周治療と補綴、矯正治療との関係について学ぶ。歯肉歯槽粘膜の病変とその原因、治療方法、知覚過敏処置について学ぶ。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 咬合性外傷、歯肉歯槽粘膜の病変とその原因、知覚過敏処置について学ぶ。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：咬合性外傷、歯の動揺、歯根露出、知覚過敏について事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：授業時配布のプリントで事後学習を行う。 事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 303教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p>	*齋藤 由未

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/10/28 (水) 3時限 13:10~14:40	歯周治療学⑦ 咬合と歯周病、歯の動揺と移動、歯肉の増殖と退縮、歯根露出、知覚過敏症への対応	<p>歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 b 歯周基本治療</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 c 咬合性外傷に対する治療</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 ③歯周治療の術式と適応症を説明できる。</p>	*齋藤 由未
2026/11/04 (水) 3時限 13:10~14:40	歯周治療学⑧ 歯周病の病因論、宿主防御反応、全身疾患と歯周疾患の関係	<p>【授業の一般目標】 歯周病における宿主防御過程について学ぶ。全身疾患と歯周病との関係を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯周病と関連する全身疾患を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：歯周病と全身疾患との関係について事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：授業時配布のプリントで事後学習を行う。 事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 303教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 c 歯周治療</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 k 全身疾患を有する者の歯周疾患治療</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 ①歯周疾患の症状及び全身疾患との関連を説明できる（疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む）。</p>	*中山 洋平
2026/11/11 (水) 3時限 13:10~14:40	歯周治療学⑨ 歯周実習① 歯周治療総論 器具の配布、器具・実習マニュアルの説明、歯周病検査(1)	<p>【授業の一般目標】 歯周治療で使用する器具の名称、使用方法、使用目的を説明できる。歯周治療の進め方を理解する。歯周病検査の意義を説明できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯周治療の進め方を説明できる。 3. 歯周病検査の項目を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：歯周治療に使用する器具の名称、使用方法と目的を事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：授業時配布のプリントで事後学習を行う。 事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有、実習形式 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 303教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p>	<p>*中山 洋平 *高井 英樹 *高井 瑞徳 *齋藤 由未 *武田 萌 *守屋 叡 *小麓山 希 *坂本 昌之 *山田 憲 福井 優 堀部 和俊 堂東 聖 若林 健史 新井 政人 荒木 正大 五十嵐 一馬 五十嵐 尚美 池田 寛 岩井 泰伸 岩佐 俊夫 金子 博寿 北澤 伊 金 東淳 齋藤 綾一朗 澁川 直也 中嶋 祐 能田 佳佑 古瀬 信久 松村 浩禎</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/11/11 (水) 3時限 13:10～14:40	歯周治療学⑨ 歯周実習① 歯周治療総論 器具の配布、器具・実習マニュアルの説明、歯周病検査(1)	歯科医学総論 総論VI 検査 1 口腔検査・顎口腔機能検査 ア 口腔検査 c 歯周組織(歯周病)検査 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 ②歯周疾患の検査法、診断及び治療方針(メンテナンス法を含む)を説明できる。	横田 祐司
2026/11/11 (水) 4時限 14:50～16:20	歯周治療学⑨ 歯周実習① 歯周治療総論 器具の配布、器具・実習マニュアルの説明、歯周病検査(1)	【授業の一般目標】 歯周治療で使用する器具の名称、使用方法、使用目的を説明できる。歯周治療の進め方を理解する。歯周病検査の意義を説明できる。 【行動目標(SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯周治療の進め方を説明できる。 3. 歯周病検査の項目を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目: 歯周治療に使用する器具の名称、使用方法と目的を事前学習する。 事前学習時間: 30分 事後学習項目: 授業時配布のプリントで事後学習を行う。 事後学習時間: 30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有, 実習形式 板書, プリントおよびパワーポイントを使用する。 【学修方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 303教室、第2実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論VI 検査 1 口腔検査・顎口腔機能検査 ア 口腔検査 c 歯周組織(歯周病)検査 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 ②歯周疾患の検査法、診断及び治療方針(メンテナンス法を含む)を説明できる。	* 中山 洋平 * 高井 英樹 * 高井 瑞徳 * 齋藤 由未 * 武田 萌 * 守屋 叡 * 小鹿山 希 * 坂本 昌之 * 山田 憲 福井 優 堀部 和俊 堂東 聖 若林 健史 新井 政人 荒木 正大 五十嵐 一馬 五十嵐 尚美 池田 寛 岩井 泰伸 岩佐 俊夫 金子 博寿 北澤 伊 金 東淳 齋藤 綾一朗 澁川 直也 中嶋 祐 能田 佳佑 古瀬 信久 松村 浩禎 横田 祐司
2026/11/18 (水) 3時限 13:10～14:40	歯周治療学⑩ 歯周実習② 歯周基本治療1、歯周病検査(2)、歯周病の検査・診断・治療計画、プロトコルの記入、人工歯石の塗布	【授業の一般目標】 歯周精密検査を行い、検査結果を基に診断および治療計画を立案することができる。歯周基本治療で行う治療内容を説明できる。歯周精密検査表の記入ができる。 【行動目標(SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯周治療の流れを説明できる。 3. 歯周病検査の結果、診断および治療計画の立案ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目: 歯周病検査(歯周精密検査)の項目を事前学習する。 事前学習時間: 30分 事後学習項目: 授業時配布のプリントで事後学習を行う。 事後学習時間: 30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有, 実習形式 板書, プリントおよびパワーポイントを使用する。 【学修方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 303教室、第2実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論VI 検査 1 口腔検査・顎口腔機能検査 ア 口腔検査 c 歯周組織(歯周病)検査 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-1) 診察の基本	* 中山 洋平 * 高井 英樹 * 高井 瑞徳 * 齋藤 由未 * 武田 萌 * 守屋 叡 * 小鹿山 希 * 坂本 昌之 * 山田 憲 福井 優 堀部 和俊 五十嵐 一馬 堂東 聖 若林 健史 五十嵐 尚美 岩井 泰伸 岩佐 俊夫 加藤 直子 藤松 浩禎 横田 祐司

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/11/18 (水) 3時限 13:10~14:40	歯周治療学⑩ 歯周実習② 歯周 基本治療1、歯周 病検査(2)、歯周 病の検査・診断・ 治療計画、プロ トコルの記入、 人工歯石の塗布	①診察、検査及び診断に必要な事項を列挙できる。 ②診察、検査及び診断に必要な器材を説明できる。	*中山 洋平 *高井 英樹 *齋藤 瑞徳 *武田 由未 *守屋 萌 *小鹿 山 希 *坂本 昌之 *山田 憲 福井 優 堀部 和俊 五十嵐 一馬 堂東 聖 若林 健史 五十嵐 尚美 岩井 泰伸 岩佐 俊夫 加藤 直子 松村 浩禎 横田 祐司
2026/11/18 (水) 4時限 14:50~16:20	歯周治療学⑩ 歯周実習② 歯周 基本治療1、歯周 病検査(2)、歯周 病の検査・診断・ 治療計画、プロ トコルの記入、 人工歯石の塗布	【授業の一般目標】 歯周精密検査を行い、検査結果を基に診断および治療計画を立案することができる。歯周基本治療で行う治療内容を説明できる。歯周精密検査表の記入ができる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯周治療の流れを説明できる。 3. 歯周病検査の結果、診断および治療計画の立案ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：歯周病検査（歯周精密検査）の項目を事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：授業時配布のプリントで事後学習を行う。 事後学習時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有、実習形式 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 303教室、第2実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VI 検査 1 口腔検査・顎口腔機能検査 ア 口腔検査 c 歯周組織 (歯周病) 検査 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-1) 診察の基本 ①診察、検査及び診断に必要な事項を列挙できる。 ②診察、検査及び診断に必要な器材を説明できる。	*中山 洋平 *高井 英樹 *高井 瑞徳 *齋藤 由未 *武田 萌 *守屋 叡 *小鹿 山 希 *坂本 昌之 *山田 憲 福井 優 堀部 和俊 五十嵐 一馬 堂東 聖 若林 健史 五十嵐 尚美 岩井 泰伸 岩佐 俊夫 加藤 直子 松村 浩禎 横田 祐司
2026/11/25 (水) 3時限 13:10~14:40	歯周治療学⑪ 歯周実習③ 歯周 基本治療2、ブラ ッシング、電動歯 ブラシ、補助清掃 器具の使用法	【授業の一般目標】 ブラッシング法の種類を列挙できる。歯ブラシ、電動歯ブラシおよび補助清掃器具の選択と使用法を説明できる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. ブラッシング法とその特徴を説明できる。 3. 電動歯ブラシの特徴と使用法を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：ブラッシング法とその特徴を事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：授業時配布のプリントで事後学習を行う。 事後学習時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有、実習形式 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 303教室、第2実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 b 歯周基本治療	*中山 洋平 *高井 英樹 *高井 瑞徳 *齋藤 由未 *武田 萌 *守屋 叡 *小鹿 山 希 *坂本 昌之 *山田 憲 福井 優 堀部 和俊 五十嵐 一馬 堂東 聖 若林 健史 五十嵐 尚美 岩井 泰伸 岡野 千春 加藤 直子 佐々木 庸子 *鶴屋 祐人 松村 浩禎 横田 祐司

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/11/25 (水) 3時限 13:10～14:40	歯周治療学① 歯周実習③ 歯周 基本治療2、ブラ ッシング、電動歯 ブラシ、補助清掃 器具の使用法	【コアカリキュラム】 G 臨床実習 G-3 基本的臨床技能 ⑨口腔衛生指導を実施できる。	*中山 洋平 *高井 英樹 *高井 瑞徳 *齋藤 由未 *武田 萌 *守屋 叡 *小鹿 山 希 *坂本 昌之 *山田 憲 福井 優 堀部 和俊 五十嵐 一馬 堂東 聖 若林 健史 五十嵐 尚美 岩井 泰伸 岡野 千春 加藤 直子 佐々木 庸子 *鶴屋 祐人 松村 浩禎 横田 祐司
2026/11/25 (水) 4時限 14:50～16:20	歯周治療学① 歯周実習③ 歯周 基本治療2、ブラ ッシング、電動歯 ブラシ、補助清掃 器具の使用法	【授業の一般目標】 ブラッシング法の種類を列挙できる。歯ブラシ、電動歯ブラシおよび補助清掃器具の選択と使用法を説明できる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. ブラッシング法とその特徴を説明できる。 3. 電動歯ブラシの特徴と使用法を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：ブラッシング法とその特徴を事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：授業時配布のプリントで事後学習を行う。 事後学習時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有、実習形式 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 303教室、第2実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 b 歯周基本治療 【コアカリキュラム】 G 臨床実習 G-3 基本的臨床技能 ⑨口腔衛生指導を実施できる。	*中山 洋平 *高井 英樹 *高井 瑞徳 *齋藤 由未 *武田 萌 *守屋 叡 *小鹿 山 希 *坂本 昌之 *山田 憲 福井 優 堀部 和俊 五十嵐 一馬 堂東 聖 若林 健史 五十嵐 尚美 岩井 泰伸 岡野 千春 加藤 直子 佐々木 庸子 *鶴屋 祐人 松村 浩禎 横田 祐司
2026/12/02 (水) 3時限 13:10～14:40	歯周治療学② 歯周実習④ 歯周 基本治療3、スケー リング、スケーリ ング時のポジショ ニング、スケーラー の使用法 (カマ型 スケーラー)、人 工歯石の塗布	【授業の一般目標】 スケーリングの目的と方法を説明できる。スケーリングに使用する器具を選択でき、使用できる。スケーリングに際して、正しいポジショニングを習得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. スケーラーの種類とその特徴を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：スケーラの種類とその使用法について事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：スケーラの種類とその使用法について事後学習する。 事後学習時間：20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有、実習形式 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 303教室、第2実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 b 歯周基本治療 【コアカリキュラム】 G 臨床実習	*中山 洋平 *高井 英樹 *高井 瑞徳 *齋藤 由未 *武田 萌 *守屋 叡 *小鹿 山 希 *坂本 昌之 *山田 憲 福井 優 堀部 和俊 五十嵐 一馬 堂東 聖 若林 健史 岩井 泰伸 加藤 直子 金 東淳 齋藤 綾一朗 中嶋 祐 松村 浩禎 *山口 亜利彩 山之内 文彦 横田 祐司

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/12/02 (水) 3時限 13:10～14:40	歯周治療学⑫ 歯周実習④ 歯周基本治療3、スケーリング、スケーリング時のポジショニング、スケーラーの使用法（カマ型スケーラー）、人工歯石の塗布	G-3 基本的臨床技能 ⑥歯周基本治療ができる。	*中山 洋平 *高井 英樹 *高井 瑞徳 *齋藤 由未 *武田 萌 *守屋 叡 *小鹿 山 希 *坂本 昌之 *山田 憲 福井 優 堀部 和俊 五十嵐 一馬 堂東 聖 若林 健史 岩井 泰伸 加藤 直子 金 東淳 齋藤 綾一朗 中嶋 祐 松村 浩禎 *山口 亜利彩 山之内 文彦 横田 祐司
2026/12/02 (水) 4時限 14:50～16:20	歯周治療学⑫ 歯周実習④ 歯周基本治療3、スケーリング、スケーリング時のポジショニング、スケーラーの使用法（カマ型スケーラー）、人工歯石の塗布	【授業の一般目標】 スケーリングの目的と方法を説明できる。スケーリングに使用する器具を選択でき、使用できる。スケーリングに際して、正しいポジショニングを習得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. スケーラーの種類とその特徴を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：スケーラーの種類とその使用法について事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：スケーラーの種類とその使用法について事後学習する。 事後学習時間：20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有、実習形式 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。 【学修方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】 303教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 b 歯周基本治療 【コアカリキュラム】 G 臨床実習 G-3 基本的臨床技能 ⑥歯周基本治療ができる。	*中山 洋平 *高井 英樹 *高井 瑞徳 *齋藤 由未 *武田 萌 *守屋 叡 *小鹿 山 希 *坂本 昌之 *山田 憲 福井 優 堀部 和俊 五十嵐 一馬 堂東 聖 若林 健史 岩井 泰伸 加藤 直子 金 東淳 齋藤 綾一朗 中嶋 祐 松村 浩禎 *山口 亜利彩 山之内 文彦 横田 祐司
2026/12/09 (水) 3時限 13:10～14:40	歯周治療学⑬ 歯周実習⑤ 歯周基本治療4、スケーリング・ルートプレーニング①、スケーラーの使用法、グレーシーキュレット	【授業の一般目標】 スケーラーおよびキュレットの使用法を習得する。スケーリングに際して、正しいポジショニングを習得する。スケーリングとルートプレーニングの違いを説明できる。 【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. スケーリングとルートプレーニングの違いを説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：グレーシーキュレットの使用法を事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：グレーシーキュレットの使用法を事後学習する。 事後学習時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有、実習形式 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。 【学修方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】 303教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 c 歯周治療 【コアカリキュラム】 G 臨床実習	*中山 洋平 *高井 英樹 *高井 瑞徳 *齋藤 由未 *武田 萌 *守屋 叡 *小鹿 山 希 *坂本 昌之 *山田 憲 福井 優 堀部 和俊 五十嵐 一馬 堂東 聖 若林 健史 岩井 泰伸 松村 浩禎 山之内 文彦 横田 祐司

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/12/09 (水) 3時限 13:10~14:40	歯周治療学⑬ 歯周実習⑤ 歯周基本治療4、スケーリング・ルートプレーニング①、スケーラーの使用方法、グレーシーキュレット	G-3 基本的臨床技能 ⑥歯周基本治療ができる。	*中山 洋平 *高井 英樹 *高井 瑞徳 *齋藤 由未 *武田 萌 *守屋 叡 *小麓山 希 *坂本 昌之 *山田 憲 福井 優 堀部 和俊 五十嵐 一馬 堂東 聖 若林 健史 岩井 泰伸 松村 浩禎 山之内 文彦 横田 祐司
2026/12/09 (水) 4時限 14:50~16:20	歯周治療学⑬ 歯周実習⑤ 歯周基本治療4、スケーリング・ルートプレーニング①、スケーラーの使用方法、グレーシーキュレット	【授業の一般目標】 スケーラーおよびキュレットの使用法を習得する。スケーリングに際して、正しいポジショニングを習得する。スケーリングとルートプレーニングの違いを説明できる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. スケーリングとルートプレーニングの違いを説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：グレーシーキュレットの使用法を事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：グレーシーキュレットの使用法を事後学習する。 事後学習時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有、実習形式 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 303教室、第2実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 c 歯周治療 【コアカリキュラム】 G 臨床実習 G-3 基本的臨床技能 ⑥歯周基本治療ができる。	*中山 洋平 *高井 英樹 *高井 瑞徳 *齋藤 由未 *武田 萌 *守屋 叡 *小麓山 希 *坂本 昌之 *山田 憲 福井 優 堀部 和俊 五十嵐 一馬 堂東 聖 若林 健史 岩井 泰伸 松村 浩禎 山之内 文彦 横田 祐司
2026/12/16 (水) 3時限 13:10~14:40	歯周治療学⑭ 歯周実習⑥ 歯周基本治療5、スケーリング・ルートプレーニング②、スケーラーの研磨	【授業の一般目標】 ルートプレーニングに際しての、スケーラーおよびキュレットの選択、使用方法およびポジショニングを習得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. ルートプレーニングを実施できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：ルートプレーニングに関して事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：ルートプレーニングに関して事後学習する。 事後学習時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有、実習形式 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 303教室、第2実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 b 歯周基本治療 【コアカリキュラム】 G 臨床実習 G-3 基本的臨床技能 ⑥歯周基本治療ができる。	*中山 洋平 *高井 英樹 *高井 瑞徳 *齋藤 由未 *武田 萌 *守屋 叡 *小麓山 希 *坂本 昌之 *山田 憲 福井 優 堀部 和俊 五十嵐 一馬 堂東 聖 若林 健史 岩井 泰伸 松村 浩禎 *目澤 優 横田 祐司
2026/12/16 (水)	歯周治療学⑭	【授業の一般目標】	*中山 洋平

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
4時限 14:50～16:20	歯周実習⑥ 歯周基本治療5、スケーリング・ルートプレーニング②、スケーラーの研磨	<p>ルートプレーニングに際しての、スケーラーおよびキュレットの選択、使用法およびポジショニングを習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. ルートプレーニングを実施できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：ルートプレーニングに関して事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：ルートプレーニングに関して事後学習する。 事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有、実習形式 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 303教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 b 歯周基本治療</p> <p>【コアカリキュラム】 G 臨床実習 G-3 基本的臨床技能 ⑥歯周基本治療ができる。</p>	<p>*高井 英樹 *高井 瑞徳 *齋藤 由未 *武田 萌 *守屋 叡 *小鹿山 希 *坂本 昌之 *山田 憲 福井 優 堀部 和俊 五十嵐 一馬 堂東 聖 若林 健史 岩井 泰伸 松村 浩禎 *目澤 優 横田 祐司</p>
2026/12/23 (水) 3時限 13:10～14:40	歯周治療学⑤ 歯周実習⑦ 歯周基本治療まとめ、実習試験①、実技試験	<p>【授業の一般目標】 歯周治療における歯周基本治療の意義について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯周基本治療の意義について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：実習で行った内容を再度事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：実習で行った内容を再度事後学習する。 事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有、実習形式 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 303教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 b 歯周基本治療</p> <p>【コアカリキュラム】 G 臨床実習 G-3 基本的臨床技能 ⑥歯周基本治療ができる。</p>	<p>*中山 洋平 *高井 英樹 *高井 瑞徳 *齋藤 由未 *武田 萌 *守屋 叡 *小鹿山 希 *坂本 昌之 *山田 憲 福井 優 堀部 和俊 五十嵐 一馬 堂東 聖 若林 健史</p>
2026/12/23 (水) 4時限 14:50～16:20	歯周治療学⑤ 歯周実習⑦ 歯周基本治療まとめ、実習試験①、実技試験	<p>【授業の一般目標】 歯周治療における歯周基本治療の意義について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯周基本治療の意義について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：実習で行った内容を再度事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：実習で行った内容を再度事後学習する。 事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有、実習形式 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p>	<p>*中山 洋平 *高井 英樹 *高井 瑞徳 *齋藤 由未 *武田 萌 *守屋 叡 *小鹿山 希 *坂本 昌之 *山田 憲 福井 優 堀部 和俊 五十嵐 一馬 堂東 聖 若林 健史</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/12/23 (水) 4時限 14:50～16:20	歯周治療学⑯ 歯周実習⑦ 歯周 基本治療まとめ、 実習試験①、実技 試験	【場所（教室/実習室）】 303教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 b 歯周基本治療 【コアカリキュラム】 G 臨床実習 G-3 基本的臨床技能 ⑥歯周基本治療ができる。	*中山 洋平 *高井 英樹 *高井 瑞徳 *齋藤 由未 *武田 萌 *守屋 叡 *小鹿山 希 *坂本 昌之 *山田 憲 福井 優 堀部 和俊 五十嵐 一馬 堂東 聖 若林 健史
2027/01/13 (水) 3時限 13:10～14:40	歯周治療学⑯ 歯周基本治療まと め 平常試験①	【授業の一般目標】 歯周基本治療の意義について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯周基本治療の進め方を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：歯周基本治療全般について事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：歯周基本治療全般について事後学習する。 事後学習時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無 板書，プリントおよびパワーポイントを使用する。 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 303教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 c 歯周治療 【コアカリキュラム】 G 臨床実習 G-3 基本的臨床技能 ⑥歯周基本治療ができる。	*中山 洋平 *高井 英樹 *高井 瑞徳 *齋藤 由未 *武田 萌 *守屋 叡 *小鹿山 希 *坂本 昌之 *山田 憲 福井 優 堀部 和俊 五十嵐 一馬 堂東 聖 若林 健史
2027/01/13 (水) 4時限 14:50～16:20	歯周治療学⑯ 歯周基本治療まと め 平常試験①	【授業の一般目標】 歯周基本治療の意義について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯周基本治療の進め方を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：歯周基本治療全般について事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：歯周基本治療全般について事後学習する。 事後学習時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無 板書，プリントおよびパワーポイントを使用する。 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 303教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 c 歯周治療 【コアカリキュラム】 G 臨床実習 G-3 基本的臨床技能 ⑥歯周基本治療ができる。	*中山 洋平 *高井 英樹 *高井 瑞徳 *齋藤 由未 *武田 萌 *守屋 叡 *小鹿山 希 *坂本 昌之 *山田 憲 福井 優 堀部 和俊 五十嵐 一馬 堂東 聖 若林 健史
2027/01/14 (木) 3時限 13:10～14:40	歯周治療学⑰ 歯周基本治療まと め 平常試験②	【授業の一般目標】 歯周基本治療の意義について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯周基本治療の進め方を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】	*中山 洋平

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2027/01/14 (木) 3時限 13:10～14:40	歯周治療学① 歯周基本治療まとめ 平常試験②	<p>事前学習項目：歯周基本治療の内容について事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：歯周基本治療の内容について事後学習する。 事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無 板書, プリントおよびパワーポイントを使用する。</p> <p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 303教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 b 歯周基本治療</p> <p>【コアカリキュラム】 G 臨床実習 G-3 基本的臨床技能 ⑥歯周基本治療ができる。</p>	*中山 洋平
2027/01/14 (木) 4時限 14:50～16:20	歯周治療学① 歯周基本治療まとめ 平常試験②	<p>【授業の一般目標】 歯周基本治療の意義について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯周基本治療の進め方を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：歯周基本治療の内容について事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：歯周基本治療の内容について事後学習する。 事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無 板書, プリントおよびパワーポイントを使用する。</p> <p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 303教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 b 歯周基本治療</p> <p>【コアカリキュラム】 G 臨床実習 G-3 基本的臨床技能 ⑥歯周基本治療ができる。</p>	*中山 洋平

保存修復学

年次	学期	学修ユニット責任者
3年次	通年	*小峯 千明 (保存修復学)

学修ユニット 学修目標 (GIO)	<p>保存修復学は、歯の硬組織に生じうる蝕や部分的な欠損の病因と治療法を学ぶことで欠損部分を修復処置した歯を長期間に渡り審美的且つ機能的な状態で口腔内に保たせることを目的とする学問である。前期では、総論の内容としては、う蝕やう蝕以外の硬組織疾患の種類とその病因・病態、硬組織疾患の検査方法および窩洞について学ぶ。実習では、各論のうち間接修復法の中でも「非接着修復法」であるメタルインレー修復について回転切削器具による窩洞形成を行い、さらに印象採得から作業模型の製作など技工操作を含めた実習を行う。そして、種々の症例に適応した修復材料の特徴を理解するために、メタルインレー修復を通して修復材料の材料学的、臨床的特徴について学修し、臨床において必要不可欠となる窩洞の名称や形態の理解だけでなく、使用する材料、器具等の名称とその使用目的を学ぶ必要がある。これは保存修復治療の基礎であり、今後の授業あるいは実習内容を理解するための基本となる。</p> <p>後期は、現代のう蝕治療の基本概念であるMinimal Intervention Dentistry に基づいたう蝕の処置と接着修復法であるコンポジットレジン修復やグラスアイオノマーセメント修復を学修する。特にコンポジットレジン修復はう蝕治療の主流であり、歯の硬組織欠損や歯の損耗および歯の変色を機能的かつ審美的に修復することができ、健康歯質の保存により歯の寿命を延伸できる処置である。更に、コンポジットレジン修復では処置できない比較的大きな歯の欠損については、間接審美修復法としてセラミックインレー修復やレジンインレー修復を学修する。その他に歯の変色に対する生活歯の漂白法や象牙質知覚過敏症の診断と処置方針に関する知識を修得する。</p>		
担当教員	<p>*小峯 千明、*内山 敏一、*神谷 直孝、*寺中 文子、*庫川 幸利、※*山崎 陽祐、村上 裕雄貴、久米 駿佑、※熱田 互、*石川 明子、※飯田 浩雅、※金杉 紀明、※庫山 未希、※杉山 道紀、※田川 剛士、※富田 行秀、中島 光、※深澤 正幹、※細野 隆也、※山本 憲廣、壹岐 宏二、※岩井 仁寿、岩井 啓寿、※木村 大、※小泉 直也、※小西 美徳、※須原 秀宜、関根 哲子、※常田 幸齊、※富久田 梢、※並木 泰次、※若松 尚吾、*塚原 弾、高橋 知多香、中澤 弘貴、辻本 真規、菅原 佳広、小嶋 康世</p>		
教科書	保存修復学 第7版 千田 彰、宮崎真至、林 美加子、向井義晴、斎藤隆史 [編] 医歯薬出版		
参考図書	保存修復学21 第七版 【監修】山本一世、斎藤隆史、村松 敬、島田康史 永末書店		
評価方法 (EV)	<p>保存修復学における評価方法は、授業と実習の評価割合を以下のようにして判定する。</p> <p>1) 授業の評価は、平常試験を6回(前期3回、後期3回)実施し、その総合評価の70%とする。なお、正当な理由がある場合のみ平常試験の追試験を行う。追試験の成績評価は学修便覧に準ずる。平常試験の再試験および追試験の追再試験は行わない。</p> <p>2) 実習の評価は、実習態度(20%)、実習ポストテスト(20%)、実技試験(2回実施、30%)、および実習口頭試問(2回実施、30%)により評価し成績評価の30%とする。したがって、実習を欠席した場合、必ず翌週の実習までに追実習願を提出し、欠席した実習に関して指示を仰ぐこと。なお、正当な理由がある場合のみ、実習実技試験と口頭試問の追試験を行う。追試験の追試験は行わない。しかし、実習を1/3以上欠席した者は、いかなる理由による欠席でも追実習(実技)試験受験資格を喪失する。</p> <p>3) 授業および実習それぞれに対して4/5を超えた出席を必要とする。授業または実習を1/5以上欠席したものは、授業の平常試験または実習の実技試験のそれぞれの再試験受験資格を喪失する。</p>		
学生への メッセージ オフィスアワー	<p>【実務経験】小峯千明は、日本歯科保存学会指導医・日本歯内療学会専門医や日本顕微鏡歯科学会・日本口腔顔面痛学会・日本口腔検査学会認定医として本学部付属病院での診療、歯科修復材料をはじめとした幅広い分野における基礎研究や臨床的手法、および付属病院に来院する患者の実態調査等を進めている。これまでに得られた知識、症例等に基づき臨床動画など視覚素材を用いた分かりやすい講義・実習を行う。</p> <p>保存修復治療は、一般歯科治療の中でも高頻度に行われる処置である。したがって、3年次で学んだことが歯科医療人としての医療知識や技術を左右するといっても過言ではないため、毎回の講義・実習を大切にしたい。</p> <p>なお、オフィスアワーは特に設定しないが、質問がある場合はいつでも保存修復学講座医局を訪ねてください。</p>		

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/04/09 (木) 3時限 13:10~14:40	修復講義①: 保存修復学概説、硬組織疾患の種類	<p>【授業の一般目標】 健康で豊かな口腔機能を維持・増進させるために、保存修復学の概念と修復処置の対象となる硬組織疾患の種類および治療に用いる修復材料と切削器具の変遷について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 保存修復学の概念と目的について説明できる。 修復材料に関する歴史について説明できる。 歯の切削器具に関する歴史について説明できる。 歯の硬組織疾患の種類について説明できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事前学修項目: 保存修復学第7版、pp. 1~5、pp. 13~20を読んでおく。 事前学修時間: 30分 事後学修項目: 授業時配布資料の復習 事後学修時間: 30分 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング: なし 学修媒体: 配布プリント、マルチメディア</p>	*小峯 千明

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/04/09 (木) 3時限 13:10～14:40	修復講義①：保存修復学概説、硬組織疾患の種類	<p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 303教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 8 診察の基本 キ 歯・歯周組織の診察 a 歯と歯冠修復物</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科医療機器（歯科材料・器械・器具） D-1 歯科医療機器（歯科材料・器械・器具）の特性と用途 ①歯科医療機器（歯科材料・器械・器具）の所要性質と用途を説明できる。 ③診療用器械・器具の構造と特性を説明できる。 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 ①歯の硬組織疾患（tooth wear（酸蝕症、咬耗、摩耗等）、歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む）の病因と病態を説明できる。</p>	*小峯 千明
2026/04/09 (木) 4時限 14:50～16:20	修復講義②：う蝕以外の歯の硬組織疾患	<p>【授業の一般目標】 歯の硬組織に生じた欠損に対して適切な診断と処置が行えるようになるために、その原因と特徴について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. う蝕以外の歯の硬組織疾患を列挙できる。 3. Tooth Wearについて説明できる。 4. クサビ状欠損の原因と特徴について説明できる。 5. 摩耗症の原因と特徴について説明できる。 6. 咬耗症の原因と特徴について説明できる。 7. 酸蝕症の原因と特徴について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：保存修復学第7版、pp. 27～37を読んでおく。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料の復習と関連する歯科医師国家試験過去問題の解答 ・事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 学修媒体：配布プリント、マルチメディア</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 303教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 2 口腔・顎顔面領域の疾患の病因・病態 ア 主な病因・病態 b 歯・歯周組織の疾患</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 ①歯の硬組織疾患（tooth wear（酸蝕症、咬耗、摩耗等）、歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む）の病因と病態を説明できる。</p>	*神谷 直孝 *小峯 千明
2026/04/16 (木) 3時限 13:10～14:40	修復講義③：う蝕の病因・病態と処置1	<p>【授業の一般目標】 歯の硬組織疾患のうち最も多いう蝕の処置が行えるようになるために、う蝕の病因と病態および予知について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. う蝕の分類と表記を説明できる。 3. う蝕のリスクファクターについて説明できる。 4. 再石灰化について説明できる。 5. う蝕の予知について説明できる。 6. う蝕の処置方法について説明できる。 7. う蝕予防とPMTCについて説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：保存修復学第7版、pp. 14～21を読んでおく。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料の復習と関連する歯科医師国家試験過去問題の解答 ・事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 学修媒体：配布プリント、マルチメディア</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p>	*小峯 千明

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/04/16 (木) 3時限 13:10～14:40	修復講義③：う蝕の病因・病態と処置1	303教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 2 口腔・顎顔面領域の疾患の病因・病態 ア 主な病因・病態 b 歯・歯周組織の疾患 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ①齶蝕その他の歯の硬組織疾患 (tooth wear (酸蝕症、咬耗、摩耗等)、生活歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む) の症状、検査法、診断及び処置法 (再石灰化療法を含む) を説明できる。	*小峯 千明
2026/04/16 (木) 4時限 14:50～16:20	修復講義④：う蝕の病因・病態と処置2	【授業の一般目標】 う蝕の処置が行えるようになるために、エナメル質、象牙質およびセメント質におけるう蝕の拡がり方の違いについて理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. CO、C1、C2、C3およびICDASについて説明できる。 3. エナメル質う蝕の特徴を説明できる。 4. 象牙質う蝕の特徴を説明できる。 5. セメント質う蝕の特徴を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：保存修復学第7版、pp. 22～27を読んでおく。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料の復習と関連する歯科医師国家試験過去問題に取り組む ・事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 学修媒体：配布プリント、マルチメディア 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 303教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 2 口腔・顎顔面領域の疾患の病因・病態 ア 主な病因・病態 b 歯・歯周組織の疾患 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ①齶蝕その他の歯の硬組織疾患 (tooth wear (酸蝕症、咬耗、摩耗等)、生活歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む) の症状、検査法、診断及び処置法 (再石灰化療法を含む) を説明できる。 C 生命科学 C-4 感染と免疫 C-4-1) 感染 ②細菌、真菌、ウイルス及び原虫のヒトに対する感染機構と病原性を説明できる。	*小峯 千明
2026/04/23 (木) 3時限 13:10～14:40	修復講義⑤：硬組織疾患の検査法	【授業の一般目標】 硬組織欠損の原因を探り診断と処置方針の決定と適切な処置ができるようになるために、硬組織疾患の検査法に必要な器具およびその目的と扱い方について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 硬組織疾患の診断に必要な検査法を列挙できる。 3. 検査に必要な器具の名称と使用法について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：保存修復学第7版、pp. 56～64を読んでおく。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料の復習と関連する歯科医師国家試験過去問題の解答 ・事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 学修媒体：配布プリント、マルチメディア 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 303教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論	*小峯 千明

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/04/23 (木) 3時限 13:10～14:40	修復講義⑤：硬組織疾患の検査法	<p>総論Ⅵ 検査 1 口腔検査・顎口腔機能検査 ア 口腔検査 a 歯の硬組織の検査</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ①齶蝕その他の歯の硬組織疾患 (tooth wear (酸蝕症、咬耗、摩耗等)、生活歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む) の症状、検査法、診断及び処置法 (再石灰化療法を含む) を説明できる。 ④修復に必要な前処置の目的と意義を説明できる。</p>	*小峯 千明
2026/04/23 (木) 4時限 14:50～16:20	修復講義⑥：修復前準備 (1)	<p>【授業の一般目標】 適切な修復操作が行えるようになるために、修復前準備の種類とその意義目的および必要な器具について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 修復前準備の種類とその目的について説明できる。 3. 修復前準備に用いる器具とその用途について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：保存修復学第7版、pp. 45～48、129～138を読んでおく。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料の復習と関連する歯科医師国家試験過去問題の解答 ・事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 学修媒体：配布プリント、マルチメディア</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 303教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 a 歯の硬組織疾患の治療</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ④修復に必要な前処置の目的と意義を説明できる。</p>	*小峯 千明
2026/05/07 (木) 3時限 13:10～14:40	修復平常試験1・解説講義	<p>【授業の一般目標】 修復講義①～⑥の講義内容に関する知識の定着と理解度を評価するために、MCQによる試験を行う。試験終了後、出題内容について解説講義を実施する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. これまでの講義内容を正しく理解し適切にアウトプットできる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：修復講義①～⑥の範囲の復習 ・事前学修時間：360分 ・事後学修項目：平常試験1の見直し ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 学修媒体：教科書、配布資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 303教室、第2実習室</p>	*庫川 幸利 *小峯 千明
2026/05/07 (木) 4時限 14:50～16:20	修復講義⑦：硬組織の切削器具と歯髄傷害およびその対策	<p>【授業の一般目標】 適切な硬組織の切削が行えるようになるために、回転切削器具と手用切削器具の種類とその特徴および歯髄傷害の予防を考慮した切削法について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 代表的な手用切削器具の種類と用途について説明できる。 3. 回転切削器械の種類と特徴について説明できる。 4. その他の硬組織切削器具の種類とその特徴について説明できる。 5. 歯質切削後のエナメル質・象牙質の損傷について説明できる。 6. 歯質切削後の歯髄の傷害について説明できる。 7. 歯髄傷害の予防対策について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：保存修復学第7版、pp. 98～110、122～128を読んでおく。 ・事前学修時間：60分</p>	*小峯 千明

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/05/07 (木) 4時限 14:50～16:20	修復講義⑦：硬組織の切削器具と歯髄傷害およびその対策	<p>・事後学修項目：授業時配布資料の復習と関連する歯科医師国家試験過去問題の解答 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 学修媒体：配布プリント、マルチメディア</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 303教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 d 象牙質・歯髄保護法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ⑤歯髄保護の意義、種類と方法を説明できる。 D 歯科医療機器（歯科材料・器械・器具） D-1 歯科医療機器（歯科材料・器械・器具）の特性と用途 ①歯科医療機器（歯科材料・器械・器具）の所要性質と用途を説明できる。</p>	*小峯 千明
2026/05/14 (木) 3時限 13:10～14:40	修復講義⑧：修復物の具備すべき形状と面の性状、感染予防対策	<p>【授業の一般目標】 適切な修復物の形態付与ができるようになるために、修復物の具備すべき形状と面の性状について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 修復物が具備すべき歯冠形態について説明できる。 3. 保存修復処置に使用する器具器材の消毒・滅菌方法について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：保存修復学第7版、pp.138～140を読んでおく。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料の復習と関連する歯科医師国家試験過去問題の解答 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 学修媒体：配布プリント、マルチメディア</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 303教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 5 歯と歯周組織の構造 ア 歯の形態 a 基本事項</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生及び構造と機能 ④歯（乳歯、根未完成歯、幼若永久歯を含む）の硬組織の構造、機能及び構成成分を説明できる。</p>	*小峯 千明
2026/05/14 (木) 4時限 14:50～16:20	修復講義⑨：窩洞の名称と分類	<p>【授業の一般目標】 適切な窩洞形成が行えるようになるために、窩洞の分類やその名称について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 窩洞の構成と各部の名称について説明できる。 3. 窩洞の種類について説明できる。 4. 窩洞の分類について説明できる。 5. Blackの窩洞分類について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：保存修復学第7版、pp.110～114を読んでおく。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料の復習と関連する歯科医師国家試験過去問題の解答 ・事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 学修媒体：配布プリント、マルチメディア</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p>	*小峯 千明

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/05/14 (木) 4時限 14:50~16:20	修復講義⑨：窩洞の名称と分類	<p>【場所（教室/実習室）】 303教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 c 窩洞形成法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3)-(1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ⑥窩洞形成の意義と方法を説明できる。</p>	*小峯 千明
2026/05/21 (木) 3時限 13:10~14:40	修復実習①：器具配布・マイクロモーターによる切削の基本操作	<p>【授業の一般目標】 適切な修復学実習が実施できるようになるために、窩洞形成に必要な切削器具の名称と用途を知りマイクロモーターの駆動方法や回転切削器具の取り扱いについて理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. マイクロモーター用切削器具の種類と名称を列挙できる。 2. コントラアングルを装着したマイクロモーターの取り扱い方法を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：実習マニュアルに記載された実習動画（QRコード参照）を事前に視聴すること。 ・準備学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：反転授業 学修媒体：実習マニュアル、実習動画、マルチメディア</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 303教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 c 窩洞形成法</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科医療機器（歯科材料・器械・器具） D-1 歯科医療機器（歯科材料・器械・器具）の特性と用途 ③診療用器械・器具の構造と特性を説明できる。</p>	*小峯 千明 *内山 敏一 *神谷 直孝 *寺中 文子 *庫川 幸利 *山崎 陽祐 久米 駿佑 村上 裕雄 熱田 貴 飯田 互 *石川 浩雅 金杉 明子 庫山 紀明 杉山 未希 田川 道紀 富田 剛士 中島 行秀 中島 光 深澤 正幹 細野 隆也 山本 憲廣 壹岐 宏二 岩井 仁寿 岩井 啓寿 木村 大 小泉 直也 小西 美徳 須原 秀宜 関根 哲子 常田 幸 富久 田 幸 並木 泰次 若松 尚吾 *塚原 弾 高橋 知多 中澤 弘貴 辻本 真規 菅原 佳広 小嶋 康世
2026/05/21 (木) 4時限 14:50~16:20	修復実習②：器具配布・マイクロモーターによる切削の基本操作	<p>【授業の一般目標】 適切な修復学実習が実施できるようになるために、窩洞形成に必要な切削器具の名称と用途を知りマイクロモーターの駆動方法や回転切削器具の取り扱いについて理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. マイクロモーター用切削器具の種類と名称を列挙できる。 2. コントラアングルを装着したマイクロモーターの取り扱い方法を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：実習マニュアルに記載された実習動画（QRコード参照）を事前に視聴すること。 ・準備学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：反転授業 学修媒体：実習マニュアル、実習動画、マルチメディア</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 303教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 c 窩洞形成法</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科医療機器（歯科材料・器械・器具） D-1 歯科医療機器（歯科材料・器械・器具）の特性と用途 ③診療用器械・器具の構造と特性を説明できる。</p>	*小峯 千明 *内山 敏一 *神谷 直孝 *寺中 文子 *庫川 幸利 *山崎 陽祐 久米 駿佑 村上 裕雄 熱田 貴 飯田 互 *石川 浩雅 金杉 明子 庫山 紀明 杉山 未希 田川 道紀 富田 剛士 中島 行秀 中島 光 深澤 正幹 細野 隆也 山本 憲廣 壹岐 宏二 岩井 仁寿 岩井 啓寿 木村 大 小泉 直也 小西 美徳 須原 秀宜 関根 哲子 常田 幸 富久 田 幸 並木 泰次 若松 尚吾 *塚原 弾 高橋 知多 中澤 弘貴 辻本 真規 菅原 佳広 小嶋 康世
2026/05/28 (木)	修復実習③：2倍	【授業の一般目標】	*小峯 千明

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
3時限 13:10～14:40	大模型歯5級(B) 窩洞形成	<p>適切な窩洞形成ができるようになるために、正しい診療姿勢、ハンドピースの取り扱いおよび切削器具の名称や目的について理解する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 回転切削器械を正しく使用できる。 3. 5級(B)窩洞の外形線と窩壁、線角および点角の名称を説明できる。 4. マイクロモーターとスチールバーを用いて2倍大模型に5級(B)窩洞の形成ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目: 実習マニュアルに記載された実習動画(QRコード参照)を事前に視聴すること。 ・事前学修時間: 30分 ・事後学修項目: 実習内容の振り返りを行なうこと。 ・事後学修時間: 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: 反転授業 学修媒体: 実習マニュアル、実習動画、マルチメディア</p> <p>【学修方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 303教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 c 窩洞形成法</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科医療機器(歯科材料・器械・器具) D-1 歯科医療機器(歯科材料・器械・器具)の特性と用途 ③診療用器械・器具の構造と特性を説明できる。 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3-(1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ⑥窩洞形成の意義と方法を説明できる。</p>	<p>* 山内 敏一 * 神谷 直孝 * 寺中 文子 * 庫川 幸利 * 山崎 陽祐 久米 駿佑 村上 裕雄 村 上 貴 熱田 互 飯田 浩雅 * 石川 明子 金杉 紀明 庫山 未希 杉山 道紀 田川 剛士 富田 行秀 中島 光 深澤 正幹 細野 隆也 山本 憲廣 壹岐 宏二 岩井 仁寿 岩井 啓寿 木村 大 小泉 直也 小西 美徳 須原 秀宜 関根 哲子 常田 幸 富久 田 幸 並木 泰次 若松 尚吾 * 塚原 弾 高橋 知多 中澤 弘貴 辻本 真規 菅原 佳広 小嶋 康世</p>
2026/05/28(木) 4時限 14:50～16:20	修復実習④: 2倍 大模型歯3級(M P) 4級(DBP I) 窩洞形成	<p>【授業の一般目標】 適切な窩洞形成ができるようになるために、正しい診療姿勢、ハンドピースの取り扱いおよび切削器具の名称や目的について理解する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 回転切削器械を正しく使用できる。 3. 3級(MP)窩洞の外形線と窩壁、線角および点角の名称を説明できる。 4. 4級(DBPI)窩洞の外形線と窩壁、線角および点角の名称を説明できる。 5. マイクロモーターとスチールバーを用いて2倍大模型に3級と4級窩洞の形成ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目: 実習マニュアルに記載された実習動画(QRコード参照)を事前に視聴すること。 ・事前学修時間: 30分 ・事後学修項目: 実習内容(術式、使用器具、製作物評価など)の振り返りを行なうこと。 ・事後学修時間: 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: 反転授業 学修媒体: 実習マニュアル、実習動画、マルチメディア</p> <p>【学修方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 303教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 c 窩洞形成法</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科医療機器(歯科材料・器械・器具) D-1 歯科医療機器(歯科材料・器械・器具)の特性と用途 ③診療用器械・器具の構造と特性を説明できる。 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3-(1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ⑥窩洞形成の意義と方法を説明できる。</p>	<p>* 小峯 千明 * 山内 敏一 * 神谷 直孝 * 寺中 文子 * 庫川 幸利 * 山崎 陽祐 久米 駿佑 村上 裕雄 村 上 貴 熱田 互 飯田 浩雅 * 石川 明子 金杉 紀明 庫山 未希 杉山 道紀 田川 剛士 富田 行秀 中島 光 深澤 正幹 細野 隆也 山本 憲廣 壹岐 宏二 岩井 仁寿 岩井 啓寿 木村 大 小泉 直也 小西 美徳 須原 秀宜 関根 哲子 常田 幸 富久 田 幸 並木 泰次 若松 尚吾 * 塚原 弾 高橋 知多 中澤 弘貴 辻本 真規 菅原 佳広 小嶋 康世</p>
2026/06/04(木) 3時限 13:10～14:40	修復講義⑩: 歯科 用レーザーとその 他の歯質切削法	<p>【授業の一般目標】 審美的なコンポジットレジン修復が行えるようになるために、各種切削器具、歯科用レーザー、エアブレイシブおよび薬剤によるう蝕除去方法について理解する。</p>	<p>* 山内 敏一 * 小峯 千明 * 神谷 直孝 * 寺中 文子 * 庫川 幸利</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/06/04 (木) 3時限 13:10~14:40	修復講義⑩：歯科用レーザーとその他の歯質切削法	<p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 回転切削器具の種類と特徴について説明できる。 3. 歯科用レーザーの種類と用途について説明できる。 4. 歯科用レーザー使用時の注意点について説明できる。 5. エアブレイシブによるう蝕象牙質の切削について説明できる。 6. 薬剤によるう蝕象牙質の除去について説明できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前学修項目：保存修復学第7版、pp.106~110、p162の色合わせについてを読んでおく。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料の復習と関連する歯科医師国家試験過去問題の解答 ・事後学修時間：30分 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング：なし 学修媒体：配布プリント、マルチメディア</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>303教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学総論 総論Ⅷ 歯科材料と歯科医療機器 2 診療用器械・器具 イ 切削・研削工具、研磨材</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>D 歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) D-1 歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) の特性と用途 ①歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) の所要性質と用途を説明できる。</p>	*山崎 陽祐
2026/06/04 (木) 4時限 14:50~16:20	修復講義⑪：歯科用レーザーとその他の歯質切削法	<p>【授業の一般目標】</p> <p>審美的なコンポジットレジン修復が行えるようになるために、各種切削器具、歯科用レーザー、エアブレイシブおよび薬剤によるう蝕除去方法について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 回転切削器具の種類と特徴について説明できる。 3. 歯科用レーザーの種類と用途について説明できる。 4. 歯科用レーザー使用時の注意点について説明できる。 5. エアブレイシブによるう蝕象牙質の切削について説明できる。 6. 薬剤によるう蝕象牙質の除去について説明できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前学修項目：保存修復学第7版、pp.106~110、p162の色合わせについてを読んでおく。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料の復習と関連する歯科医師国家試験過去問題の解答 ・事後学修時間：30分 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング：なし 学修媒体：配布プリント、マルチメディア</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>303教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学総論 総論Ⅷ 歯科材料と歯科医療機器 2 診療用器械・器具 イ 切削・研削工具、研磨材</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>D 歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) D-1 歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) の特性と用途 ①歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) の所要性質と用途を説明できる。</p>	*内山 敏一 *小峯 千明 *神谷 直孝 *寺中 文子 *庫川 幸利 *山崎 陽祐
2026/06/11 (木) 3時限 13:10~14:40	修復実習⑤：2倍大模型歯1級 (OB) 窩洞形成	<p>【授業の一般目標】</p> <p>適切な窩洞形成ができるようになるために、正しい診療姿勢、ハンドピースの取り扱いおよび切削器具の名称や目的について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 回転切削器具を正しく使用できる。 3. 1級 (OB) 窩洞の外形線と窩壁、線角および点角の名称を説明できる。 4. マイクロモーターとスチールバーを用いて2倍大模型に1級 (OB) 窩洞の形成ができる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前学修項目：実習マニュアルに記載された実習動画 (QRコード参照) を事前に視聴すること。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：実習内容の振り返りを行なうこと。 ・事後学修時間：30分 	*小峯 千明 *内山 敏一 *神谷 直孝 *寺中 文子 *庫川 幸利 *山崎 陽祐 久米 駿佑 村上 裕雄 熟田 互 飯田 浩雅 *石川 明子 金杉 紀明 庫山 未希 杉山 道紀 田川 剛士 富田 行秀 中島 光

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/06/11 (木) 3時限 13:10～14:40	修復実習⑤：2倍 大模型歯1級 (OB) 窩洞形成	<p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：反転授業 学修媒体：実習マニュアル、実習動画、マルチメディア</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 303教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 c 窩洞形成法</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) D-1 歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) の特性と用途 ③診療用器械・器具の構造と特性を説明できる。 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齲蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ⑥窩洞形成の意義と方法を説明できる。</p>	深澤 正幹 細野 隆也 山本 憲広 壹岐 宏二 岩井 仁寿 岩井 啓寿 木村 大直 小泉 也徳 小西 美宜 須原 秀子 関根 哲幸 常田 幸斉 富田 田 梢 並木 泰次 若松 尚吾 *塚原 弾 高橋 知多 中澤 弘貴 辻本 真規 菅原 佳広 小嶋 康世
2026/06/11 (木) 4時限 14:50～16:20	修復実習⑥：2倍 大模型歯2級 (M OB) 窩洞形成	<p>【授業の一般目標】 適切な窩洞形成ができるようになるために、正しい診療姿勢、ハンドピースの 取り扱いおよび切削器具の名称や目的について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 回転切削器械を正しく使用できる。 3. 2級 (MOB) 窩洞の外形線と窩壁、線角および点角の名称を説明できる。 4. マイクロモーターとスチールバーを用いて2倍大模型に2級 (MOB) 窩洞 形成ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：実習マニュアルに記載された実習動画 (QRコード参照) を事 前に視聴すること。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：実習内容 (術式、使用器具、製作物評価など) の振り返りを 行なうこと。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：反転授業 学修媒体：実習マニュアル、実習動画、マルチメディア</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 303教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 c 窩洞形成法</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) D-1 歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) の特性と用途 ③診療用器械・器具の構造と特性を説明できる。 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齲蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ⑥窩洞形成の意義と方法を説明できる。</p>	*小峯 千明 *内山 敏一 *神谷 直孝 *寺中 文子 *庫川 幸利 *山崎 陽祐 久米 駿佑 村上 裕雄 熱田 貴 飯田 互 石川 浩雅 *石川 明子 金杉 紀明 庫山 未希 山道 道紀 田川 剛士 富田 行秀 中島 光 深澤 正幹 細野 隆也 山本 憲広 壹岐 宏二 岩井 仁寿 岩井 啓寿 木村 大直 小泉 也徳 小西 美宜 須原 秀子 関根 哲幸 常田 幸斉 富田 田 梢 並木 泰次 若松 尚吾 *塚原 弾 高橋 知多 中澤 弘貴 辻本 真規 菅原 佳広 小嶋 康世
2026/06/18 (木) 3時限 13:10～14:40	修復平常試験2・ 解説講義	<p>【授業の一般目標】 平常試験1の低正答率問題と修復講義⑦～⑩の講義内容に関する知識の深化と 理解度を評価するために、MCQによる試験を行う。試験終了後、出題内容につ いて解説講義を実施する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. これまでの講義内容を正しく理解し適切にアウトプットできる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：60分修復講義⑦～⑩の範囲の復習 ・事前学修時間：360分 ・事後学修項目：平常試験②の見直し ・事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング なし 学修媒体 教科書、配布資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p>	*小峯 千明 *内山 敏一 *神谷 直孝 *寺中 文子 *庫川 幸利 *山崎 陽祐

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/06/18 (木) 3時限 13:10~14:40	修復平常試験2・ 解説講義	【場所(教室/実習室)】 303教室、第2実習室	*小峯 千明 *内山 敏一 *神谷 直孝 *寺中 文子 *庫川 幸利 *山崎 陽祐
2026/06/18 (木) 4時限 14:50~16:20	修復講義⑫:メタルインレー修復の特徴と術式	【授業の一般目標】 白歯部の硬組織欠損をメタルインレーによって修復できるようになるために、メタルインレー修復の特徴と臨床手順について理解する。 【行動目標(SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. メタルインレー修復の特徴について説明できる。 3. メタルインレーの材料学的特徴について説明できる。 4. メタルインレー修復法の術式について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目:保存修復学第7版、pp.193~207を読んでおく。 ・事前学修時間:60分 ・事後学修項目:授業時配布資料の復習と関連する歯科医師国家試験過去問題の解答 ・事後学修時間:30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング:なし 学修媒体:配布プリント、マルチメディア 【学修方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 303教室、第2実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 b 間接修復法 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ⑥窩洞形成の意義と方法を説明できる。	*小峯 千明
2026/06/25 (木) 3時限 13:10~14:40	修復実習⑦:メタルインレー2級(MO)窩洞形成	【授業の一般目標】 口腔内で直視による2級メタルインレー修復窩洞の形成ができるようになるために、窩洞形成に必要な器材の使用法と形成手順、回転切削器具の取り扱いについて理解する。 【行動目標(SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 2級メタルインレー窩洞の窩壁の名称について説明できる。 3. 2級メタルインレー窩洞の具備条件について説明できる。 4. 直視による正しいチェアポジションが取れる。 5. 窩洞形成に必要な回転切削器具が適切に使用できる。 6. 直視によるメタルインレー2級窩洞の形成ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目:実習マニュアルに記載された実習動画(QRコード参照)を事前に視聴すること。 ・事前学修時間:30分 ・事後学修項目:実習内容(術式、使用器具、製作物評価など)の振り返りを行なうこと。 ・事後学修時間:30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング:反転授業 学修媒体:実習マニュアル、実習動画、マルチメディア 【学修方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 303教室、第2実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 c 窩洞形成法 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 b 間接修復法 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療	*小峯 千明 *内山 敏一 *神谷 直孝 *寺中 文子 *庫川 幸利 *山崎 陽祐 久米 駿佑 村上 裕雄 村田 互 飯田 浩雅 *石川 明子 金杉 紀明 庫山 未希 杉山 道紀 田川 剛士 富田 行秀 中島 光 深澤 正幹 細野 隆也 山本 憲広 壹岐 宏二 岩井 仁寿 岩井 啓寿 木村 大 小泉 直也 小西 美徳 須原 秀宜 関根 哲子 常田 幸斉 富久 田 梢 並木 泰次 若松 尚吾 *塚原 弾 高橋 知多 中澤 弘貴 辻本 真規 菅原 佳広 小嶋 康世

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/06/25 (木) 3時限 13:10~14:40	修復実習⑦:メタルインレー2級 (MO) 窩洞形成	E-3-3)-(1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ⑥窩洞形成の意義と方法を説明できる。 F シミュレーション実習(模型実習・相互演習(実習)) F-3 基本的臨床技能 F-3-3) 歯と歯周組織の疾患の治療 ①齶蝕その他の歯の硬組織疾患の簡単な処置(コンポジットレジン修復、グラスアイオノマーセメント修復、メタルインレー修復、補修修復)を実施できる。 D 歯科医療機器(歯科材料・器械・器具) D-1 歯科医療機器(歯科材料・器械・器具)の特性と用途 ③診療用器械・器具の構造と特性を説明できる。	*小峯 千明 *内山 敏一 *神谷 直孝 *寺中 文子 *庫川 幸利 *山崎 陽祐 久米 駿佑 村上 裕雄 熱田 互 飯田 浩雅 *石川 明子 *金杉 紀明 *庫山 未希 *山道 紀士 田川 剛士 *富田 行秀 中島 光 *深澤 正幹 細野 隆也 *山本 憲廣 壹岐 宏二 岩井 仁寿 岩井 啓寿 木村 大 小泉 直也 小西 美徳 *須原 秀宜 関根 哲子 *常田 幸斉 *富久 田 梢 並木 泰次 若松 尚吾 *塚原 弾 高橋 知多 中澤 弘貴 *辻本 真規 菅原 佳広 小嶋 康世
2026/06/25 (木) 4時限 14:50~16:20	修復実習⑧:メタルインレー2級 (MO) 窩洞形成	【授業の一般目標】 口腔内で直視による2級メタルインレー修復窩洞の形成ができるようになるために、窩洞形成に必要な器材の使用法と形成手順、回転切削器具の取り扱いについて理解する。 【行動目標(SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 直視による正しいチェアポジションが取れる。 3. 直視により2級メタルインレー窩洞形成ができる。 4. 窩洞形成に必要な回転切削器具が適切に使用できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目:実習マニュアルに記載された実習動画(QRコード参照)を事前に視聴すること。 ・事前学修時間:30分 ・事後学修項目:実習内容(術式、使用器具、製作物評価など)の振り返りを行なうこと。 ・事後学修時間:30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング:反転授業 学修媒体:実習マニュアル、実習動画、マルチメディア 【学修方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 303教室、第2実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 b 間接修復法 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 c 窩洞形成法 【コアカリキュラム】 D 歯科医療機器(歯科材料・器械・器具) D-1 歯科医療機器(歯科材料・器械・器具)の特性と用途 ③診療用器械・器具の構造と特性を説明できる。 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3)-(1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ⑥窩洞形成の意義と方法を説明できる。	*小峯 千明 *内山 敏一 *神谷 直孝 *寺中 文子 *庫川 幸利 *山崎 陽祐 久米 駿佑 村上 裕雄 熱田 互 飯田 浩雅 *石川 明子 *金杉 紀明 *庫山 未希 *山道 紀士 田川 剛士 *富田 行秀 中島 光 *深澤 正幹 細野 隆也 *山本 憲廣 壹岐 宏二 岩井 仁寿 岩井 啓寿 木村 大 小泉 直也 小西 美徳 *須原 秀宜 関根 哲子 *常田 幸斉 *富久 田 梢 並木 泰次 若松 尚吾 *塚原 弾 高橋 知多 中澤 弘貴 *辻本 真規 菅原 佳広 小嶋 康世
2026/07/02 (木) 3時限 13:10~14:40	修復実習⑨:実技試験1(インレー形成)	【授業の一般目標】 メタルインレー修復窩洞に必要な窩洞の具備条件を理解し、直視による2級メタルインレー窩洞(MO)の形成ができる。 【行動目標(SBOs)】	*小峯 千明 *内山 敏一 *神谷 直孝 *寺中 文子 *庫川 幸利

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/07/02 (木) 3時限 13:10～14:40	修復実習⑨：実技試験1（インレー形成）	<p>1. 回転切削器具の適切な取り扱いができる。 2. 2級メタルインレー窩洞の形成ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：下顎大白歯2級メタルインレー窩洞の特徴と具備条件、窩洞形成に用いる切削器具の選択について修得しておくこと。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：製作物の評価について振り返りを行なうこと。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 303教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 c 窩洞形成法</p> <p>【コアカリキュラム】 F シミュレーション実習（模型実習・相互演習（実習）） F-3 基本的臨床技能 F-3-3 歯と歯周組織の疾患の治療 ①齶蝕その他の歯の硬組織疾患の簡単な処置（コンポジットレジン修復、グラスアイオンマーセメント修復、メタルインレー修復、補修修復）を実施できる。</p>	*山崎 陽祐 久米 駿佑 村上 裕雄 熱田 互 飯田 浩雅 *石川 明子 金杉 紀明 庫山 未希 杉山 道紀 田川 剛士 富田 行秀 中島 光 深澤 正幹 細野 隆也 山本 憲廣 壹岐 宏二 岩井 仁寿 岩井 啓寿 木村 大直 小泉 也徳 小西 美宜 須原 秀宜 関根 幸 常田 幸 富久 田 梢 並木 泰次 若松 尚吾 *塚原 弾 高橋 知多 中澤 弘貴 辻本 真規 菅原 佳広 小嶋 康世
2026/07/02 (木) 4時限 14:50～16:20	修復実習⑩：メタルインレーの製作 ーシリコン連合印象採得、石膏注入ー	<p>【授業の一般目標】 メタルインレー体作製のための作業模型が製作できるようになるために、シリコン連合印象材の特徴と採得手順および手技について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 印象材の適切な取り扱いができる。 3. シリコン連合印象材によるメタルインレー窩洞の印象採得ができる。 4. アルジネート印象材により対合歯の印象採得ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：実習マニュアルに記載された実習動画（QRコード参照）を事前に視聴すること。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：実習内容（術式、使用器具、製作物評価など）の振り返りを行なうこと。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：反転授業 学修媒体：実習マニュアル、実習動画、マルチメディア</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 303教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 b 間接修復法</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅷ 歯科材料と歯科医療機器 3 印象用材料 ウ 機能印象材</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3-（1）齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ③修復材料とその取扱い、修復法の適応を説明できる。</p>	*小峯 千明 *内山 敏一 *神谷 直孝 *寺中 文子 *庫川 幸利 *山崎 陽祐 久米 駿佑 村上 裕雄 熱田 互 飯田 浩雅 *石川 明子 金杉 紀明 庫山 未希 杉山 道紀 田川 剛士 富田 行秀 中島 光 深澤 正幹 細野 隆也 山本 憲廣 壹岐 宏二 岩井 仁寿 岩井 啓寿 木村 大直 小泉 也徳 小西 美宜 須原 秀宜 関根 幸 常田 幸 富久 田 梢 並木 泰次 若松 尚吾 *塚原 弾 高橋 知多 中澤 弘貴 辻本 真規 菅原 佳広 小嶋 康世
2026/07/09 (木) 3時限 13:10～14:40	修復講義⑬：メタルインレー修復の窩洞形態	<p>【授業の一般目標】 臼歯部の硬組織欠損をメタルインレーによって修復できるようになるために、メタルインレー修復の窩洞の具備条件について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. メタルインレー修復窩洞の外形線の設計について説明できる。 3. メタルインレー修復窩洞の保持形態について説明できる。 4. メタルインレー修復窩洞の抵抗形態について説明できる。 5. メタルインレー修復窩洞の便宜形態について説明できる。 6. メタルインレー修復窩洞の窩縁形態について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：保存修復学第7版、pp.196～198を読んでおく。 ・事前学修時間：30分</p>	*小峯 千明

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/07/09 (木) 3時限 13:10～14:40	修復講義⑬:メタルインレー修復の窩洞形態	<p>・事後学修項目:授業時配布資料の復習と関連する歯科医師国家試験過去問題の解答 ・事後学修時間:60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング:なし 学修媒体:配布プリント、マルチメディア</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 303教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 b 間接修復法</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 c 窩洞形成法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ⑥窩洞形成の意義と方法を説明できる。</p>	*小峯 千明
2026/07/09 (木) 4時限 14:50～16:20	修復講義⑭:メタルインレーの製作法 - 連合印象法、仮封材、インレーワックス、埋没・鑄造法、鑄造欠陥	<p>【授業の一般目標】 メタルインレー体を製作できるようになるために、窩洞形成歯の印象採得に必要な印象材の種類とその特徴および連合印象法について理解する。また、窩洞に適合するメタルインレー体が製作できるようになるために、インレーワックスと埋没材の材料学的特徴および鑄造欠陥について理解する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 印象材の種類と特徴を説明できる。 3. 連合印象法の特徴について説明できる。 4. 連合印象法の手順について説明できる。 5. 仮封の目的について説明できる。 6. 仮封材の所要性質と種類および使用方法について説明できる。 7. インレーワックスの種類と特徴を説明できる。 8. 埋没材の種類と所要性質を説明できる。 9. 鑄造欠陥の種類とその原因について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目:保存修復学第7版、pp.198～203を読んでおく。 ・事前学修時間:30分 ・事後学修項目:授業時配布資料の復習と関連する歯科医師国家試験過去問題の解答 ・事後学修時間:60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング:なし 学修媒体:配布プリント、マルチメディア</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 303教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅷ 歯科材料と歯科医療機器 4 模型用材料、ワックス イ 歯科用ワックス a インレーワックス</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科医療機器(歯科材料・器械・器具) D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 ①成形修復・予防填塞用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ⑦仮封の意義、種類及び特徴を説明できる。 D 歯科医療機器(歯科材料・器械・器具) D-1 歯科医療機器(歯科材料・器械・器具)の特性と用途 ①歯科医療機器(歯科材料・器械・器具)の所要性質と用途を説明できる。 D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 ①成形修復・予防填塞用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。</p>	*小峯 千明
2026/07/16 (木) 3時限	修復実習⑮:メタルインレーの試適	<p>【授業の一般目標】 口腔内で2級メタルインレー修復の装着できるようになるために、装着前に必</p>	*小峯 千明 *内山 敏一

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
13:10~14:40	調整・仕上げ研磨	<p>要な器材の使用法と装着手順、回転切削器具の取り扱いについて理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2級メタルインレー窩洞の装着手順について説明できる。 インレー装着に必要な回転切削器具が適切に使用できる。 正しいチェアーポジションが取れる。 顎模型をマネキンに装着してメタルインレーの装着ができる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事前学修項目：実習マニュアルに記載された実習動画（QRコード参照）を事前に視聴すること。 事前学修時間：30分 事後学修項目：実習内容（術式、使用器具、製作物評価など）の振り返りを行なうこと。 事後学修時間：30分 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング：反転授業 学修媒体：実習マニュアル、実習動画、マルチメディア</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>303教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 b 間接修復法</p> <p>【国家試験出題基準（副）】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 c 窩洞形成法</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3-（1）齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ⑥窩洞形成の意義と方法を説明できる。 F シミュレーション実習（模型実習・相互演習（実習）） F-3 基本的臨床技能 F-3-3 歯と歯周組織の疾患の治療 ①齶蝕その他の歯の硬組織疾患の簡単な処置（コンポジットレジン修復、グラスアイオノマーセメント修復、メタルインレー修復、補修修復）を実施できる。 D 歯科医療機器（歯科材料・器械・器具） D-1 歯科医療機器（歯科材料・器械・器具）の特性と用途 ③診療用器械・器具の構造と特性を説明できる。</p>	<p>*神谷 直孝 *寺中 文子 *庫川 幸利 *山崎 陽祐 久米 駿佑 村上 裕雄 熱田 互 飯田 浩雅 *石川 明子 金杉 紀明 庫山 未希 杉山 道紀 田川 剛士 富田 行秀 中島 光 深澤 正幹 細野 隆也 山本 憲廣 壹岐 宏二 岩井 仁寿 岩井 啓寿 木村 大 小泉 直也 小西 美徳 須原 秀宜 関根 哲子 常田 幸斉 富久 田 梢 並木 泰次 若松 尚吾 *塚原 弾 高橋 知多 中澤 弘貴 辻本 真規 菅原 佳広 小嶋 康世</p>
2026/07/16（木） 4時限 14:50~16:20	修復実習⑩：メタルインレーの試適・調整・仕上げ研磨	<p>【授業の一般目標】</p> <p>口腔内で2級メタルインレー修復の装着できるようになるために、装着前に必要な器材の使用法と装着手順、回転切削器具の取り扱いについて理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2級メタルインレー窩洞の装着手順について説明できる。 インレー装着に必要な回転切削器具が適切に使用できる。 正しいチェアーポジションが取れる。 顎模型をマネキンに装着してメタルインレーの装着ができる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事前学修項目：実習マニュアルに記載された実習動画（QRコード参照）を事前に視聴すること。 事前学修時間：30分 事後学修項目：実習内容（術式、使用器具、製作物評価など）の振り返りを行なうこと。 事後学修時間：30分 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング：反転授業 学修媒体：実習マニュアル、実習動画、マルチメディア</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>303教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 b 間接修復法</p> <p>【国家試験出題基準（副）】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患</p>	<p>*小峯 千明 *内山 敏一 *神谷 直孝 *寺中 文子 *庫川 幸利 *山崎 陽祐 久米 駿佑 村上 裕雄 熱田 互 飯田 浩雅 *石川 明子 金杉 紀明 庫山 未希 杉山 道紀 田川 剛士 富田 行秀 中島 光 深澤 正幹 細野 隆也 山本 憲廣 壹岐 宏二 岩井 仁寿 岩井 啓寿 木村 大 小泉 直也 小西 美徳 須原 秀宜 関根 哲子 常田 幸斉 富久 田 梢 並木 泰次 若松 尚吾 *塚原 弾 高橋 知多 中澤 弘貴 辻本 真規 菅原 佳広 小嶋 康世</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/07/16 (木) 4時限 14:50~16:20	修復実習⑫:メタルインレーの試適・調整・仕上げ研磨	ウ 歯の硬組織疾患の治療 c 窩洞形成法 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ⑥窩洞形成の意義と方法を説明できる。 F シミュレーション実習 (模型実習・相互演習 (実習)) F-3 基本的臨床技能 F-3-3) 歯と歯周組織の疾患の治療 ①齶蝕その他の歯の硬組織疾患の簡単な処置 (コンポジットレジン修復、グラスアイオノマーセメント修復、メタルインレー修復、補修修復) を実施できる。 D 歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) D-1 歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) の特性と用途 ③診療用器械・器具の構造と特性を説明できる。	*小峯 千明 *内山 敏一 *神谷 直孝 *寺中 文子 *庫川 幸利 *山崎 陽祐 久米 駿佑 村上 裕雄 熱田 互 飯田 浩雅 *石川 明子 金杉 紀明 庫山 未希 杉山 道紀 田川 剛士 富田 行秀 中島 光 深澤 正幹 細野 隆也 山本 憲廣 壹岐 宏二 岩井 仁寿 岩井 啓寿 木村 大 小泉 直徳 小西 美宜 須原 秀子 関根 哲 常田 幸 富久 田 梢 並木 泰次 若松 尚吾 *塚原 弾 高橋 知多 中澤 弘貴 辻本 真規 菅原 佳広 小嶋 康世
2026/07/23 (木) 3時限 13:10~14:40	修復平常試験3・ 解説講義	【授業の一般目標】 平常試験②の低正答率問題と修復講義⑫~⑭の講義内容に関する知識の深化と理解度を評価するために、MCQによる試験を行う。試験終了後、出題内容について解説講義を実施する。 【行動目標 (SBOs)】 1. これまでの講義内容を正しく理解し適切にアウトプットできる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目: 60分修復講義⑫~⑭の範囲の復習 ・事前学修時間: 360分 ・事後学修項目: 平常試験②の見直し ・事後学修時間: 60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: なし 学修媒体: 教科書、配布資料 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 303教室、第2実習室	*小峯 千明 *内山 敏一 *神谷 直孝 *寺中 文子 *庫川 幸利 *山崎 陽祐
2026/07/23 (木) 4時限 14:50~16:20	修復講義⑮: 実習 まとめ講義	【授業の一般目標】 前期実習で使用した器具・器材を適切に使用できるようになるために、その名称と使用目的および使用法について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. これまでの講義・実習内容を正しく理解し適切にインプットできる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: 実習①~⑩の内容について実習マニュアルや動画を視聴し復習しておく。 ・準備学修時間: 60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: なし 学修媒体: 実習動画、マルチメディア 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 303教室、第2実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 b 間接修復法 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患	*庫川 幸利 *小峯 千明 *内山 敏一 *神谷 直孝 *寺中 文子 *山崎 陽祐

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/07/23 (木) 4時限 14:50~16:20	修復講義⑮: 実習 まとめ講義	E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ⑥窩洞形成の意義と方法を説明できる。 ④修復に必要な前処置の目的と意義を説明できる。 ⑦仮封の意義、種類及び特徴を説明できる。	* 庫川 幸利 * 小峯 千明 * 内山 敏一 * 神谷 直孝 * 寺中 文子 * 山崎 陽祐
2026/08/20 (木) 3時限 13:10~14:40	修復実習⑬: 口頭 試問1	【授業の一般目標】 口頭試問の範囲: 修復実習①~⑫の実習内容 【行動目標 (SBOs)】 1. 実習で学んだ修復術式について説明できる。 2. 実習で使用する器具の名称と用途について説明できる。 3. 実習で学んだ間接修復法について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目: 修復実習①~⑨の範囲について復習しておくこと。 ・事前学修時間: 180分 ・事後学修項目: 口頭試問の内容について振り返りを行なうこと。 ・事後学修時間: 60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング なし 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 303教室、第2実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VII 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 a 歯の硬組織疾患の治療 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 b 間接修復法 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ⑥窩洞形成の意義と方法を説明できる。 ⑦仮封の意義、種類及び特徴を説明できる。 ③修復材料とその取扱い、修復法の適応を説明できる。 ④修復に必要な前処置の目的と意義を説明できる。	* 小峯 千明 * 内山 敏一 * 神谷 直孝 * 寺中 文子 * 庫川 幸利 * 山崎 陽祐 久米 駿佑 村上 裕雄 村田 互 熱田 浩雅 飯田 明子 * 石川 紀明 * 金杉 未希 庫山 道紀 山道 士 杉山 剛 田川 秀 富田 行 中島 光 中島 正幹 深澤 隆也 細野 憲 山本 廣二 山本 憲宏 岩井 仁寿 岩井 啓 木村 大 小泉 直也 小西 美徳 須原 秀宜 関根 哲子 常田 幸 富久 田 幸 並木 泰次 若松 尚吾 * 塚原 尚 高橋 知多 中澤 弘貴 辻本 真規 菅原 佳広 小嶋 康世
2026/08/20 (木) 4時限 14:50~16:20	修復実習⑭: 口頭 試問1 (2)	【授業の一般目標】 口頭試問の範囲: 修復実習①~⑫の実習内容 【行動目標 (SBOs)】 1. 実習で学んで修復術式について説明できる。 2. 実習で使用する器具の名称と用途について説明できる。 3. 実習で学んだ間接修復法について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目: 修復実習①~⑨の範囲について復習しておくこと。 ・事前学修時間: 180分 ・事後学修項目: 口頭試問の内容について振り返りを行なうこと。 ・事後学修時間: 60分 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 303教室、第2実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VII 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 a 歯の硬組織疾患の治療 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 b 間接修復法 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ⑥窩洞形成の意義と方法を説明できる。 ⑦仮封の意義、種類及び特徴を説明できる。 ③修復材料とその取扱い、修復法の適応を説明できる。 ④修復に必要な前処置の目的と意義を説明できる。	* 小峯 千明 * 内山 敏一 * 神谷 直孝 * 寺中 文子 * 庫川 幸利 * 山崎 陽祐 久米 駿佑 村上 裕雄 村田 互 熱田 浩雅 飯田 明子 * 石川 紀明 * 金杉 未希 庫山 道紀 山道 士 杉山 剛 田川 秀 富田 行 中島 光 中島 正幹 深澤 隆也 細野 憲 山本 廣二 山本 憲宏 岩井 仁寿 岩井 啓 木村 大 小泉 直也 小西 美徳 須原 秀宜 関根 哲子 常田 幸 富久 田 幸 並木 泰次 若松 尚吾 * 塚原 尚 高橋 知多 中澤 弘貴 辻本 真規 菅原 佳広 小嶋 康世

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/08/20 (木) 4時限 14:50～16:20	修復実習⑭：口頭 試問1 (2)		*小峯 千明 *内山 敏一 *神谷 直孝 *寺中 文子 *庫川 幸利 *山崎 陽祐 久米 駿佑 村上 裕雄 熱田 互貴 飯田 浩雅 *石川 明子 *金杉 紀明 庫山 未希 山山 道紀 田川 剛士 富田 行秀 中島 光 深澤 正幹 細野 隆憲 山本 廣二 壹岐 宏 岩井 仁寿 岩井 啓寿 木村 大 小泉 直也 小西 美宜 須原 秀子 関根 哲幸 常田 子 富久 田 梢 並木 泰次 若松 尚吾 *塚原 弾 高橋 知多 中澤 弘貴 辻本 真規 菅原 佳広 小嶋 康世
2026/09/10 (木) 2時限 10:40～12:10	修復講義⑯：MI Dentistry、コンポジットレジン修復の材料学的特性と窩洞の特徴	<p>【授業の一般目標】 適切なコンポジットレジン修復ができるようになるために、MI Dentistryの概念に基づいたコンポジットレジン修復窩洞の特徴とコンポジットレジンの材料学的特徴について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. コンポジットレジン材料学的特徴について説明できる。 3. MI Dentistryの概念に基づくう蝕治療の原則について説明できる。 4. 間接修復法と比較してコンポジットレジン修復の長所・短所について説明できる。 5. コンポジットレジン修復窩洞の特徴について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：保存修復学第7版、pp. 141～162を読んでおく。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料の復習と関連する歯科医師国家試験過去問題の解答 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：あり (ピア・インストラクション) 学修媒体：配布プリント、マルチメディア</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 303教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 a 直接修復法</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅷ 歯科材料と歯科医療機器 5 成形修復・予防填塞・歯内療法用材料 ア 成形修復用材料 a コンポジットレジン</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3- (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ②minimal intervention <MI>に基づく歯科治療の意義、臨床的対応を説明できる。 ⑥窩洞形成の意義と方法を説明できる。</p>	*小峯 千明
2026/09/10 (木) 3時限 13:10～14:40	修復講義⑰：う窩の処置 (う窩の開 拡、感染歯質除去)、 診療姿勢	<p>【授業の一般目標】 う蝕による硬組織欠損の適切な処置ができるようになるために、除去すべきう蝕象牙質の識別と除去に使用する器具および歯髄保護について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p>	*小峯 千明

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/09/10 (木) 3時限 13:10～14:40	修復講義⑩：う窩の処置（う窩の開拓、感染歯質除去）、診療姿勢	<p>1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. MIに基づいたう蝕象牙質の除去について説明できる。 3. う窩処置に用いる器材について説明できる。 4. う蝕象牙質第一層と第二層について説明できる。 5. う蝕検知液によるう蝕象牙質の染め分けについて説明できる。 6. 間接歯髄覆髄法の目的と術式および使用薬物について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：保存修復学第7版、p. 72～76、125～128を読んでおく。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料の復習と関連する歯科医師国家試験過去問題の解答 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 学修媒体：配布プリント、マルチメディア</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 303教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 a 歯の硬組織疾患の治療</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 8 診察の基本 イ 基本手技 c 術者の姿勢・位置</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ②minimal intervention <MI>に基づく歯科治療の意義、臨床的対応を説明できる。 ⑤歯髄保護の意義、種類と方法を説明できる。</p>	*小峯 千明
2026/09/10 (木) 4時限 14:50～16:20	修復講義⑪：コンポジットレジン修復の術式 コンポジットレジン修復で使用する器具・器材	<p>【授業の一般目標】 適切なコンポジットレジン修復が行えるようになるために、コンポジットレジン修復の術式について理解する。 適切なコンポジットレジン修復が行えるようになるために、コンポジットレジン修復窩洞の充填・研磨に用いる器具・機材について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. コンポジットレジン修復の臨床術式について説明できる。 3. コンポジットレジン修復の前準備について説明できる。 4. コンポジットレジン修復のう窩の開拓、感染象牙質の除去について説明できる。 5. コンポジットレジンの圧接子と隔壁について説明できる。 6. コンポジットレジンの充填操作について説明できる。 7. コンポジットレジン修復の積層充填について説明できる。 8. コンポジットレジン修復のう窩の開拓、感染象牙質の除去、ベベル付与に用いる器具を説明できる。 9. コンポジットレジン修復の光重合と光照射器の種類と特徴および取り扱い説明できる。 10. コンポジットレジン修復の研磨および形態修正・研磨に用いる器具について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：保存修復学第7版、pp. 162～170を読んでおくこと。 ・事後学修項目：授業時配布資料の復習と関連する歯科医師国家試験過去問題の解答 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 学修媒体：配布プリント、マルチメディア</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 303教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅷ 歯科材料と歯科医療機器 5 成形修復・予防充填・歯内療法用材料 ア 成形修復用材料 a コンポジットレジン</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式</p>	*小峯 千明

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/09/10 (木) 4時限 14:50～16:20	修復講義⑱：コン ポジットレジン修 復の術式 コンポ ジットレジン修復 で使用する器具・ 器材	a 歯の硬組織疾患の治療 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ③修復材料とその取扱い、修復法の適応を説明できる。 ④修復に必要な前処置の目的と意義を説明できる。	*小峯 千明
2026/09/17 (木) 2時限 10:40～12:10	修復講義⑲：コン ポジットレジン修 復と接着歯学とコン ポジットレジンの 臨床的問題点お よびその対策	【授業の一般目標】 適切なコンポジットレジン修復が行えるようになるために、コンポジットレジン修復の臨床的問題点とその対策について理解する。適切なコンポジットレジン修復が行えるようになるために、コンポジットレジンの歯質接着システムとその術式および使用方法について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. コンポジットレジンの重合深度について説明できる。 3. コンポジットレジンの接着メカニズムについて説明できる。 4. 重合収縮応力の緩和方法について説明できる。 5. 接着性修復の意義と歴史について説明できる。 6. 接着性修復の種類と特徴について説明できる。 7. コンポジットレジンの接着メカニズムについて説明できる。 8. セルフエッチングプライマーとボンディング材の組成について説明できる。 9. コントラクションギャップとホワイトマーキングについて説明できる。 10. 2ステップおよび1ステップボンディングシステムによる接着について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：保存修復学第7版、pp.141～145、154～157を読んでおく。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料の復習と関連する歯科医師国家試験過去問題の解答 ・事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 学修媒体：配布プリント、マルチメディア 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 303教室、第2実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 a 直接修復法 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅷ 歯科材料と歯科医療機器 5 成形修復・予防填塞・歯内療法用材料 ア 成形修復用材料 a コンポジットレジン 8 接着処理・技術 ア 接着性モノマー 【コアカリキュラム】 D 歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 ①成形修復・予防填塞用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ③修復材料とその取扱い、修復法の適応を説明できる。	*小峯 千明
2026/09/17 (木) 3時限 13:10～14:40	修復実習⑳：診療 姿勢 (チェアポジ ション)、修復前 準備 (ラバーダム 防湿法)	【授業の一般目標】 適切なコンポジットレジン修復が実施ができるようになるために、正しいチェアポジションとラバーダム防湿法について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 適切なチェアポジションが取れる。 2. ラバーダム防湿が実施できる。 3. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：関連する実習マニュアル (ページは1週前に指示する) を予習しておくこと。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：実習内容 (術式、使用器具、製作物評価など) の振り返りを行なうこと。 ・事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 学修媒体：実習マニュアル、マルチメディア	*小峯 千明 *内山 敏一 *神谷 直孝 *寺中 文子 *庫川 幸利 *山崎 陽祐 久米 駿佑 村上 裕雄 熱田 貴 飯田 互 *石川 浩雅 金杉 紀明 庫山 未希 杉山 道紀 田川 剛士 富田 行秀 中島 光 深澤 正幹 細野 隆 山本 憲 壹岐 宏二 岩井 仁寿

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/09/17 (木) 3時限 13:10~14:40	修復実習⑮: 診療姿勢 (チェアポジション)、修復前準備 (ラバーダム防湿法)	<p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 303教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 8 診察の基本 イ 基本手技 c 術者の姿勢・位置</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 8 診察の基本 イ 基本手技 b 患者の体位 (立位、座位、半坐位、仰臥位、側臥位)</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ④修復に必要な前処置の目的と意義を説明できる。</p>	岩井 啓寿 木村 大直 小泉 也徳 小西 美宜 須原 秀子 関根 哲宜 常田 幸斉 富久 田 梢 並木 泰次 若松 尚吾 *塚原 弾 高橋 知多 中澤 弘貴 辻本 真規 菅原 佳広 小嶋 康世
2026/09/17 (木) 4時限 14:50~16:20	修復実習⑯: う蝕象牙質の除去 (36う蝕検知液可染性模型歯)	<p>【授業の一般目標】 う蝕による硬組織欠損の適切な処置ができるようになるために、う蝕検知液を用いて、う蝕象牙質の識別と除去に使用する器具の使用法および間接覆髄法の術式について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 適切なチェアポジションが取れる。 3. ラバーダム防湿が実施できる。 4. う蝕検知液を適切に使用できる。 5. う窩の開拓と感染象牙質除去に使用する器具が選択できる。 6. 回転切削器具によるう窩の開拓と感染象牙質の除去ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目: 実習マニュアルに記載された実習動画 (QRコード参照) を事前に視聴すること。 ・事前学修時間: 30分 ・事後学修項目: 実習内容 (術式、使用器具、製作物評価など) の振り返りを行なうこと。 ・事後学修時間: 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: 反転授業 学修媒体: 実習マニュアル、実習動画、マルチメディア</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 303教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 d 象牙質・歯髄保護法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ⑤歯髄保護の意義、種類と方法を説明できる。</p>	*小峯 千明 *内山 敏一 *神谷 直孝 *寺中 文子 *庫川 幸利 *山崎 陽祐 久米 駿佑 村上 裕雄 村田 貴 熱田 互 飯田 浩雅 *石川 明子 金杉 紀明 庫山 未希 杉山 道紀 田川 剛士 富田 行秀 中島 光 深澤 正幹 細野 隆廣 山本 憲二 壹岐 宏 岩井 仁寿 岩井 啓寿 木村 大直 小泉 也徳 小西 美宜 須原 秀子 関根 哲宜 常田 幸斉 富久 田 梢 並木 泰次 若松 尚吾 *塚原 弾 高橋 知多 中澤 弘貴 辻本 真規 菅原 佳広 小嶋 康世
2026/09/24 (木) 2時限 10:40~12:10	修復講義⑳: まとめ講義	<p>【授業の一般目標】 講義⑯~⑲までの講義内容を正しく理解し、説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. これまでの講義・実習内容を正しく理解し適切にインプットできる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: 講義⑯~⑲の内容について授業資料を復習しておく。 ・準備学修時間: 60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: なし 学修媒体: 実習動画、マルチメディア</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 303教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VIII 歯科材料と歯科医療機器 5 成形修復・予防填塞・歯内療法用材料 ア 成形修復用材料</p>	*庫川 幸利 *小峯 千明 *内山 敏一 *神谷 直孝 *寺中 文子 *山崎 陽祐

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/09/24 (木) 2時限 10:40~12:10	修復講義⑩:まとめ講義	a コンポジットレジン 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ④修復に必要な前処置の目的と意義を説明できる。 D 歯科医療機器(歯科材料・器械・器具) D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 ①成形修復・予防充填用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。	*川 幸利 *小 千明 *内 敏一 *山 直孝 *神 文子 *谷 文子 *寺 陽祐 *中 陽祐 *山 陽祐
2026/09/24 (木) 3時限 13:10~14:40	修復実習⑪:1級コンポジットレジン修復(36:O)	【授業の一般目標】 Minimal intervention (MI) dentistryに基づく1級コンポジットレジン修復が行えるようになるために、修復手順(前準備、う蝕除去、接着操作およびレジン充填)について理解する。 【行動目標(SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 適切なチェアーポジションが取れる。 3. ラバーダム防湿法が実施できる。 4. MIに基づいた1級コンポジットレジン修復(O)窩洞が形成できる。 5. 適切な接着操作ができる。 6. 1級コンポジットレジン充填ができる。 7. 1級コンポジットレジン充填の形態修正が行える。 8. 1級コンポジットレジンの仕上げ研磨ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目:実習マニュアルに記載された実習動画(QRコード参照)を事前に視聴すること。 ・事前学修時間:30分 ・事後学修項目:実習内容(術式、使用器具、製作物評価など)の振り返りを行なうこと。 ・事後学修時間:30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング:反転授業 学修媒体:実習マニュアル、実習動画、マルチメディア 【学修方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 303教室、第2実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 a 直接修復法 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論VII 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 a 歯の硬組織疾患の治療 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ②minimal intervention <MI>に基づく歯科治療の意義、臨床的対応を説明できる。 ③修復材料とその取扱い、修復法の適応を説明できる。 ④修復に必要な前処置の目的と意義を説明できる。 ⑥窩洞形成の意義と方法を説明できる。	*小 千明 *内 敏一 *山 直孝 *神 文子 *寺 文子 *中 幸利 *川 幸利 *山 陽祐 *久 駿佑 *米 裕雄 *村 貴 *上 互 *熱 浩雅 *田 雅 *飯 明子 *石 紀明 *金 未希 *杉 道紀 *庫 剛士 *山 行秀 *杉 光 *田 正幹 *富 隆 *中 廣 *島 憲 *深 宏 *澤 仁 *細 啓 *野 大 *山 直 *本 也 *壹 美 *岐 秀 *岩 宜 *井 子 *岩 幸 *井 哲 *村 齊 *木 幸 *小 稍 *泉 田 *小 泰 *須 次 *原 吾 *根 弾 *常 知 *田 弘 *富 貴 *久 真 *田 規 *並 佳 *若 広 *松 康 *塚 香 *原 香 *高 知 *中 弘 *澤 貴 *辻 真 *本 規 *菅 佳 *原 広 *小 康
2026/09/24 (木) 4時限 14:50~16:20	修復実習⑫:1級コンポジットレジン修復(36:O)	【授業の一般目標】 Minimal intervention (MI) dentistryに基づく1級コンポジットレジン修復が行えるようになるために、修復手順(前準備、う蝕除去、接着操作およびレジン充填)について理解する。 【行動目標(SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 適切なチェアーポジションが取れる。 3. ラバーダム防湿法が実施できる。 4. MIに基づいた1級コンポジットレジン修復(O)窩洞が形成できる。 5. 適切な接着操作ができる。 6. 1級コンポジットレジン充填ができる。 7. 1級コンポジットレジン充填の形態修正が行える。 8. 1級コンポジットレジンの仕上げ研磨ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目:実習マニュアルに記載された実習動画(QRコード参照)を事前に視聴すること。 ・事前学修時間:30分 ・事後学修項目:実習内容(術式、使用器具、製作物評価など)の振り返りを行なうこと。 ・事後学修時間:30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング:反転授業	*小 千明 *内 敏一 *山 直孝 *神 文子 *寺 文子 *中 幸利 *川 幸利 *山 陽祐 *久 駿佑 *米 裕雄 *村 貴 *上 互 *熱 浩雅 *田 雅 *飯 明子 *石 紀明 *金 未希 *杉 道紀 *庫 剛士 *山 行秀 *杉 光 *田 正幹 *富 隆 *中 廣 *島 憲 *深 宏 *澤 仁 *細 啓 *野 大 *山 直 *本 也 *壹 美 *岐 秀 *岩 宜 *井 子 *岩 幸 *井 哲 *村 齊 *木 幸 *小 稍 *泉 田 *小 泰 *須 次 *原 吾 *根 弾 *常 知 *田 弘 *富 貴 *久 真 *田 規 *並 佳 *若 広 *松 康 *塚 香 *原 香 *高 知 *中 弘 *澤 貴 *辻 真 *本 規 *菅 佳 *原 広 *小 康

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/09/24 (木) 4時限 14:50～16:20	修復実習⑩：1級 コンポジットレジン 修復（36：O）	学修媒体：実習マニュアル、実習動画、マルチメディア 【学修方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】 303教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 a 直接修復法 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 a 歯の硬組織疾患の治療 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3-（1）齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ②minimal intervention <MI>に基づく歯科治療の意義、臨床的対応を説明できる。 ③修復材料とその取扱い、修復法の適応を説明できる。 ④修復に必要な前処置の目的と意義を説明できる。 ⑥窩洞形成の意義と方法を説明できる。	小西 美徳 須原 秀宜 関根 哲子 常田 幸斉 富久田 幸梢 並木 泰次 若松 尚吾 *塚原 弾 高橋 知多 中澤 弘貴 辻本 真規 菅原 佳広 小嶋 康世
2026/10/01 (木) 2時限 10:40～12:10	修復平常試験4・ 解説講義	【授業の一般目標】 平常試験1, 2, 3の低正答率問題と修復講義⑩～⑳の講義内容に関する知識の定着と理解度を評価するために、MCQによる試験を行う。試験終了後、出題内容について解説講義を実施する。 【行動目標（SBOs）】 1. これまでの講義内容を正しく理解し適切にアウトプットできる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：修復講義⑩～⑳の範囲の復習 ・事前学修時間：360分 ・事後学修項目：平常試験③の見直し ・事後学修時間：60分 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 303教室、第2実習室	*小峯 千明 *内山 敏一 *神谷 直孝 *寺中 文子 *庫川 幸利 *山崎 陽祐
2026/10/01 (木) 3時限 13:10～14:40	修復実習⑨：5級 コンポジットレジン 修復（21：B）	【授業の一般目標】 Minimal intervention (MI) dentistryに基づく5級コンポジットレジン修復が行えるようになるために、適切なる蝕除去、接着操作とレジン充填および研磨について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 適切なチェアアポジションが取れる。 3. MIに基づく5級コンポジットレジン修復窩洞が形成できる。 4. 簡易防湿ができる。 5. 歯面処理ができる。 6. 5級コンポジットレジン充填ができる。 7. サービカルマトリックスによる圧接・形態付与ができる。 8. 5級コンポジットレジンの仕上げ研磨ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：実習マニュアルに記載された実習動画（QRコード参照）を事前に視聴すること。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：実習内容（術式、使用器具、製作物評価など）の振り返りを行なうこと。 ・事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：反転授業 学修媒体：実習マニュアル、実習動画、マルチメディア 【学修方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】 303教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 a 直接修復法 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論	*小峯 千明 *内山 敏一 *神谷 直孝 *寺中 文子 *庫川 幸利 *山崎 陽祐 久米 駿佑 村上 裕雄 熱田 互 飯田 浩雅 *石川 明子 金杉 紀明 庫山 未希 杉山 道紀 田川 剛士 富田 行秀 中島 光 深澤 正幹 細野 隆也 山本 憲廣 壹岐 宏二 岩井 仁寿 岩井 啓寿 木村 大直 小泉 也徳 小西 美徳 須原 秀宜 関根 哲子 常田 幸斉 富久田 幸梢 並木 泰次 若松 尚吾 *塚原 弾 高橋 知多 中澤 弘貴 辻本 真規 菅原 佳広 小嶋 康世

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/10/01 (木) 3時限 13:10~14:40	修復実習⑨: 5級 コンポジットレジン 修復 (21:B)	<p>総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 a 歯の硬組織疾患の治療</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ②minimal intervention <MI>に基づく歯科治療の意義、臨床的対応を説明できる。 ③修復材料とその取扱い、修復法の適応を説明できる。 ④修復に必要な前処置の目的と意義を説明できる。 ⑥窩洞形成の意義と方法を説明できる。</p>	<p>*小峯 千明 *内山 敏一 *神谷 直孝 *寺中 文子 *庫川 幸利 *山崎 陽祐 久米 駿佑 村上 裕雄 熱田 互 飯田 浩雅 *石川 明子 金杉 紀明 庫山 未希 杉山 道紀 田川 剛士 富田 行秀 中島 光 深澤 正幹 細野 隆 山本 憲 壹岐 宏 岩井 仁 岩井 啓 木村 大 小泉 直 小西 美 須原 秀 関根 哲 常田 幸 富久 田 梢 並木 泰 若松 次 *塚原 尚 高橋 知 中澤 弘 辻本 貴 菅原 真 小嶋 佳 嶋 広 康 世</p>
2026/10/01 (木) 4時限 14:50~16:20	修復実習⑩: 1級 コンポジットレジン 修復 (11:M P)	<p>【授業の一般目標】 Minimal intervention (MI) dentistryに基づく3級コンポジットレジン修復が行えるようになるために、適切なる蝕除去、接着操作、隔壁の設置、レジン充填および研磨について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 適切なチェアポジションが取れる。 3. プレウエッジができる。 4. ミラーテクニックによる窩洞形成ができる。 5. MIに基づいた3級コンポジットレジン修復窩洞 (MP) の形成ができる。 6. 適切な歯面処理ができる。 7. 3級コンポジットレジンの充填と形態付与ができる。 8. 3級コンポジットレジンの形態修正と仕上げ研磨ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目: 実習マニュアルに記載された実習動画 (QRコード参照) を事前に視聴すること。 ・事前学修時間: 30分 ・事後学修項目: 実習内容 (術式、使用器具、製作物評価など) の振り返りを行なうこと。 ・事後学修時間: 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: 反転授業 学修媒体: 実習マニュアル、実習動画、マルチメディア</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 303教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 a 直接修復法</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 a 歯の硬組織疾患の治療</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ②minimal intervention <MI>に基づく歯科治療の意義、臨床的対応を説明できる。 ③修復材料とその取扱い、修復法の適応を説明できる。 ④修復に必要な前処置の目的と意義を説明できる。 ⑥窩洞形成の意義と方法を説明できる。</p>	<p>*小峯 千明 *内山 敏一 *神谷 直孝 *寺中 文子 *庫川 幸利 *山崎 陽祐 久米 駿佑 村上 裕雄 熱田 互 飯田 浩雅 *石川 明子 金杉 紀明 庫山 未希 杉山 道紀 田川 剛士 富田 行秀 中島 光 深澤 正幹 細野 隆 山本 憲 壹岐 宏 岩井 仁 岩井 啓 木村 大 小泉 直 小西 美 須原 秀 関根 哲 常田 幸 富久 田 梢 並木 泰 若松 次 *塚原 尚 高橋 知 中澤 弘 辻本 貴 菅原 真 小嶋 佳 嶋 広 康 世</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/10/08 (木) 2時限 10:40～12:10	修復講②：修復前準備(2) 象牙質知覚過敏症とその処置方針、フッ化ジアンミン銀によるう蝕抑制、アマルガム修復物の取り扱い	<p>【授業の一般目標】 象牙質知覚過敏症の診断と処置ができるようになるために、症状の原因と特徴、診断に必要な検査および適切な処置方針と使用薬物について理解する。適切な修復操作が行えるようになるために、修復前準備の種類とその意義目的および必要な器具について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 象牙質の知覚メカニズムについて説明できる。 3. 象牙質知覚過敏症の特徴について説明できる。 4. 象牙質知覚過敏症の原因について説明できる。 5. 象牙質知覚過敏症の診断に必要な検査について説明できる。 6. 象牙質知覚過敏症の処置方針が立案できる。 7. 象牙質知覚過敏症の治療に用いる薬物の効果について説明できる。 8. フッ化ジアンミン銀によるう蝕抑制効果について説明できる。 9. アマルガム修復物の取り扱いについて説明できる。 10. 修復前準備の種類とその目的と修復前準備に用いる器具とその用途について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：保存修復学第7版、pp.9～10、36～37、84～85、45～48、129～138を読んでおく。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料の復習と関連する歯科医師国家試験過去問題の解答 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 学修媒体：配布プリント、マルチメディア</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 303教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ア 歯の硬組織疾患の病因と病態 d 象牙質知覚過敏症</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 ①歯の硬組織疾患 (tooth wear (酸蝕症、咬耗、摩耗等)、歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む) の病因と病態を説明できる。 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ①齶蝕その他の歯の硬組織疾患 (tooth wear (酸蝕症、咬耗、摩耗等)、生活歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む) の症状、検査法、診断及び処置法 (再石灰化療法を含む) を説明できる。</p>	<p>* 寺中 文子 * 小峯 千明 * 内山 敏一 * 神谷 直孝 * 庫川 幸利 * 山崎 陽祐</p>
2026/10/08 (木) 3時限 13:10～14:40	修復実習④：3級コンポジットレジン修復 (21:MB)	<p>【授業の一般目標】 Minimal intervention (MI) dentistryに基づく2級コンポジットレジン修復が行えるようになるために、適切なう蝕除去、隔壁の設置、接着操作とレジン充填および研磨について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 適切なチェアーポジションが取れる。 3. プレウエッジができる。 4. MIに基づいた3級コンポジットレジン修復窩洞の形成ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：実習マニュアルに記載された実習動画 (QRコード参照) を事前に視聴すること。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：実習内容 (術式、使用器具、製作物評価など) の振り返りを行なうこと。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：反転授業、 学修媒体：実習マニュアル、実習動画、マルチメディア</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 303教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 a 直接修復法</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論</p>	<p>* 小峯 千明 * 内山 敏一 * 神谷 直孝 * 寺中 文子 * 庫川 幸利 * 山崎 陽祐 久米 駿佑 村上 裕雄貴 熱田 互 飯田 浩雅 * 石川 明子 金杉 紀明 庫山 未希 杉山 道紀 田川 剛士 富田 行秀 中島 光 深澤 正幹 細野 隆也 山本 憲廣 壹岐 宏二 岩井 仁寿 岩井 啓寿 木村 大 小泉 直也 小西 美德 須原 秀宜 関根 哲子 常田 幸齊 富久田 梢 並木 泰次 若松 尚吾 * 塚原 弾 高橋 知多香 中澤 弘貴 辻本 真規 菅原 佳広 小嶋 康世</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/10/08 (木) 3時限 13:10~14:40	修復実習②: 3級 コンポジットレジン 修復 (21:MB)	<p>総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 a 歯の硬組織疾患の治療</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ②minimal intervention <MI>に基づく歯科治療の意義、臨床的対応を説明できる。 ③修復材料とその取扱い、修復法の適応を説明できる。 ④修復に必要な前処置の目的と意義を説明できる。 ⑥窩洞形成の意義と方法を説明できる。</p>	<p>*小峯 千明 *内山 敏一 *神谷 直孝 *寺中 文子 *庫川 幸利 *山崎 陽祐 久米 駿佑 村上 裕雄 熱田 互 飯田 浩雅 *石川 明子 金杉 紀明 庫山 未希 杉山 道紀 田川 剛士 富田 行秀 中島 光 深澤 正幹 細野 隆也 山本 憲廣 壹岐 宏二 岩井 仁寿 岩井 啓寿 木村 大直 小泉 也徳 小西 美宜 須原 秀子 関根 哲斎 常田 幸斉 富久 田 梢 並木 泰次 若松 尚吾 *塚原 弾 高橋 知多 中澤 弘貴 辻本 真規 菅原 佳広 小嶋 康世</p>
2026/10/08 (木) 4時限 14:50~16:20	修復実習②: 4級 コンポジットレジン 修復 (11:DB)	<p>【授業の一般目標】 Minimal intervention (MI) dentistryに基づく2級コンポジットレジン修復が行えるようになるために、適切なる蝕除去、隔壁の設置、接着操作とレジン充填および研磨について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 適切なチェアーポジションが取れる。 3. ラバーダム防湿ができる。 4. 適切な接着操作ができる。 5. 4級コンポジットレジン充填ができる。 6. 4級コンポジットレジン充填の形態修正と仕上げ研磨が行える。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目: 実習マニュアルに記載された実習動画 (QRコード参照) を事前に視聴すること。 ・事前学修時間: 30分 ・事後学修項目: 実習内容 (術式、使用器具、製作物評価など) の振り返りを行なうこと。 ・事後学修時間: 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: 反転授業 学修媒体: 実習マニュアル、実習動画、マルチメディア</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 303教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 a 直接修復法</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 a 歯の硬組織疾患の治療</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ②minimal intervention <MI>に基づく歯科治療の意義、臨床的対応を説明できる。 ③修復材料とその取扱い、修復法の適応を説明できる。 ④修復に必要な前処置の目的と意義を説明できる。 ⑥窩洞形成の意義と方法を説明できる。</p>	<p>*小峯 千明 *内山 敏一 *神谷 直孝 *寺中 文子 *庫川 幸利 *山崎 陽祐 久米 駿佑 村上 裕雄 熱田 互 飯田 浩雅 *石川 明子 金杉 紀明 庫山 未希 杉山 道紀 田川 剛士 富田 行秀 中島 光 深澤 正幹 細野 隆也 山本 憲廣 壹岐 宏二 岩井 仁寿 岩井 啓寿 木村 大直 小泉 也徳 小西 美宜 須原 秀子 関根 哲斎 常田 幸斉 富久 田 梢 並木 泰次 若松 尚吾 *塚原 弾 高橋 知多 中澤 弘貴 辻本 真規 菅原 佳広 小嶋 康世</p>
2026/10/22 (木) 2時限	修復講義②: 生活 歯の漂白・歯科の	<p>【授業の一般目標】 生活歯漂白法を用いて変色歯の審美的改善ができるようになるために、変色歯</p>	<p>*寺中 文子 *小峯 千明</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
10:40~12:10	色彩	<p>の診断、生活歯漂白法の種類と使用薬物の取扱い方法および術式について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯の変色の原因について説明できる。 3. テトラサイクリン変色歯の分類について説明できる。 4. 生活歯の漂白法の種類とその特徴について説明できる。 5. 漂白法に用いる薬剤の組成について説明できる。 6. オフィスブリーチの術式を説明できる。 7. ホームブリーチの術式を説明できる。 8. 生活歯漂白の問題点について説明できる。 9. 漂白歯の予後について説明できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前学修項目：保存修復学第7版、pp. 85~90を読んでおく。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料の復習と関連する歯科医師国家試験過去問題の解答 ・事後学修時間：30分 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング：なし 学修媒体：配布プリント、マルチメディア</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>303教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 f 歯の漂白</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 ①歯の硬組織疾患（tooth wear（酸蝕症、咬耗、摩耗等）、歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む）の病因と病態を説明できる。 E-3-3 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3-（1）齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ①齶蝕その他の歯の硬組織疾患（tooth wear（酸蝕症、咬耗、摩耗等）、生活歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む）の症状、検査法、診断及び処置法（再石灰化療法を含む）を説明できる。</p>	<p>*内山 敏一 *神谷 直孝 *庫川 幸利 *山崎 陽祐</p>
2026/10/22（木） 3時限 13:10~14:40	修復実習③：2級 コンポジットレジン 修復（35:00, 45:00）	<p>【授業の一般目標】</p> <p>Minimal intervention (MI) dentistryに基づく2級コンポジットレジン修復が行えるようになるために、適切なる蝕除去、隔壁の設置、接着操作とレジン充填および研磨について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. MI に基づいた2級コンポジットレジン修復窩洞の形成ができる。 3. 適切なチェアーポジションが取れる。 4. プレウエッジができる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前学修項目：実習マニュアルに記載された実習動画（QRコード参照）を事前に視聴すること。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：実習内容（術式、使用器具、製作物評価など）の振り返りを行なうこと。 ・事後学修時間：30分 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング：反転授業 学修媒体：実習マニュアル、実習動画、マルチメディア</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>303教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 a 直接修復法</p> <p>【国家試験出題基準（副）】</p> <p>歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 a 歯の硬組織疾患の治療</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患</p>	<p>*小峯 千明 *内山 敏一 *神谷 直孝 *寺中 文子 *庫川 幸利 *山崎 陽祐 久米 駿佑 村上 裕雄 村田 互 熱田 浩雅 飯田 明子 *石川 紀明 金杉 未希 庫山 道紀 杉山 剛士 田川 行秀 中島 光 中島 正幹 深澤 隆也 細野 憲廣 山本 二 壹岐 宏 岩井 仁 岩井 啓 岩井 啓 木村 大 小泉 直也 小西 美徳 須原 秀宜 関根 哲子 常田 幸 富久 田 梢 並木 泰次 若松 尚 *塚原 弾 *高橋 知多 中澤 弘貴 辻本 真規 菅原 佳広 小嶋 康世</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/10/22 (木) 3時限 13:10~14:40	修復実習③: 2級 コンポジットレジン 修復 (35:0D, 45:M0)	E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ②minimal intervention <MI>に基づく歯科治療の意義、臨床的対応を説明できる。 ③修復材料とその取扱い、修復法の適応を説明できる。 ④修復に必要な前処置の目的と意義を説明できる。	*小峯 千明 *内山 敏一 *神谷 直孝 *寺中 文子 *庫川 幸利 *山崎 陽祐 久米 駿佑 村上 裕雄 熱田 互 飯田 浩雅 *石川 明子 *金杉 紀明 *庫山 未希 *山山 道紀 *田川 剛士 *富田 行秀 *中島 光 *深澤 正幹 *細野 隆 *山本 憲 *壹岐 宏 *岩井 仁 *岩井 啓 *木村 大 *小泉 直也 *小西 美徳 *須原 秀宜 *関根 哲子 *常田 幸 *富久 田 幸 *並木 泰次 *若松 尚吾 *塚原 弾 *高橋 知多 *中澤 弘貴 *辻本 真規 *菅原 佳広 *小嶋 康世
2026/10/22 (木) 4時限 14:50~16:20	修復実習④: 2級 コンポジットレジン 修復 (25:M O)	【授業の一般目標】 Minimal intervention (MI) dentistryに基づく2級コンポジットレジン修復が行えるようになるために、適切な齶除去、隔壁の設置、接着操作とレジン充填および研磨について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 適切なチェアポジションが取れる。 3. ラバーダム防湿 (連続防湿) ができる。 4. セクショナルマトリックスとリング状リテーナーによる隔壁設置ができる。 5. Tofflemire型リテーナーによる隔壁設置ができる。 6. 適切な接着操作ができる。 7. 積層充填法による2級コンポジットレジン充填ができる。 8. 2級コンポジットレジン充填の形態修正と仕上げ研磨が行える。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目: 実習マニュアルに記載された実習動画 (QRコード参照) を事前に視聴すること。 ・事前学修時間: 30分 ・事後学修項目: 実習内容 (術式、使用器具、製作物評価など) の振り返りを行なうこと。 ・事後学修時間: 30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: 反転授業 学修媒体: 実習マニュアル、実習動画、マルチメディア 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 303教室、第2実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 a 直接修復法 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論VII 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 a 歯の硬組織疾患の治療 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ②minimal intervention <MI>に基づく歯科治療の意義、臨床的対応を説明できる。 ③修復材料とその取扱い、修復法の適応を説明できる。 ④修復に必要な前処置の目的と意義を説明できる。	*小峯 千明 *内山 敏一 *神谷 直孝 *寺中 文子 *庫川 幸利 *山崎 陽祐 久米 駿佑 村上 裕雄 熱田 互 飯田 浩雅 *石川 明子 *金杉 紀明 *庫山 未希 *山山 道紀 *田川 剛士 *富田 行秀 *中島 光 *深澤 正幹 *細野 隆 *山本 憲 *壹岐 宏 *岩井 仁 *岩井 啓 *木村 大 *小泉 直也 *小西 美徳 *須原 秀宜 *関根 哲子 *常田 幸 *富久 田 幸 *並木 泰次 *若松 尚吾 *塚原 弾 *高橋 知多 *中澤 弘貴 *辻本 真規 *菅原 佳広 *小嶋 康世
2026/10/29 (木)	修復講義③: 接着	【授業の一般目標】	*小峯 千明

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2時限 10:40～12:10	歯学と審美歯科	<p>適切なコンポジットレジン修復が行えるようになるために、コンポジットレジンの歯質接着システムとその術式および使用方法について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 接着性修復の意義と歴史について説明できる。 3. 接着性修復の種類と特徴について説明できる。 4. コンポジットレジンの接着メカニズムについて説明できる。 5. セルフエッチングプライマーとボンディング材の組成について説明できる。 6. 2ステップボンディングシステムによる接着について説明できる。 7. 1ステップボンディングシステムによる接着について説明できる。 8. 接着手技を用いた審美治療を説明できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前学修項目：保存修復学第7版、pp. 141～145、154～157を読んでおく。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料の復習と関連する歯科医師国家試験過去問題の解答 ・事後学修時間：30分 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング：なし 学修媒体：配布プリント、マルチメディア</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>303教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 a 直接修復法</p> <p>【国家試験出題基準（副）】</p> <p>歯科医学総論 総論Ⅷ 歯科材料と歯科医療機器 5 成形修復・予防填塞・歯内療法用材料 ア 成形修復用材料 a コンポジットレジン 8 接着処理・技術 ア 接着性モノマー</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>D 歯科医療機器（歯科材料・器械・器具） D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 ①成形修復・予防填塞用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3-（1）齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ③修復材料とその取扱い、修復法の適応を説明できる。</p>	<p>*内山 敏一 *神谷 直孝 *寺中 文子 *庫川 幸利 *山崎 陽祐</p>
2026/10/29（木） 3時限 13:10～14:40	修復実習⑤：2級コンポジットレジン修復（25:MO）	<p>【授業の一般目標】</p> <p>Minimal intervention (MI) dentistryに基づく2級コンポジットレジン修復が行えるようになるために、適切なう蝕除去、隔壁の設置、接着操作とレジン充填および研磨について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 適切なチェアーポジションが取れる。 3. ラバーダム防湿（連続防湿）ができる。 4. プレウェッジによる修復前準備ができる。 5. セクショナルマトリックスとリング状リテーナーによる隔壁設置ができる。 6. 適切な接着操作ができる。 7. 積層充填法による2級コンポジットレジン充填ができる。 8. 2級コンポジットレジン充填の形態修正と仕上げ研磨が行える。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前学修項目：実習マニュアルに記載された実習動画（QRコード参照）を事前に視聴すること。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：実習内容（術式、使用器具、製作物評価など）の振り返りを行なうこと。 ・事後学修時間：30分 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング：反転授業 学修媒体：実習マニュアル、実習動画、マルチメディア</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>303教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 a 直接修復法</p>	<p>*小峯 千明 *内山 敏一 *神谷 直孝 *寺中 文子 *庫川 幸利 *山崎 陽祐 久米 駿佑 村上 裕雄 熱田 互 飯田 浩雅 *石川 明子 金杉 紀明 庫山 未希 杉山 道紀 田川 剛士 富田 行秀 中島 光 深澤 正幹 細野 隆也 山本 憲廣 岩井 壹岐 岩井 仁寿 岩井 啓寿 木村 大直 小泉 也徳 小西 美秀 須原 秀宜 関根 哲子 常田 幸斉 富久田 梢 並木 泰次 若松 尚吾 *塚原 弾 高橋 知多 中澤 弘貴 辻本 真規 菅原 佳広 小嶋 康世</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/10/29 (木) 3時限 13:10~14:40	修復実習㉕: 2級 コンポジットレジン 修復 (25:M O)	<p>【国家試験出題基準 (副)】</p> <p>歯科医学総論 総論VII 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 a 歯の硬組織疾患の治療</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ②minimal intervention <MI>に基づく歯科治療の意義、臨床的対応を説明できる。 ③修復材料とその取扱い、修復法の適応を説明できる。 ④修復に必要な前処置の目的と意義を説明できる。</p>	<p>*小峯 千明 *内山 敏一 *神谷 直孝 *寺中 文子 *庫川 幸利 *山崎 陽祐 久米 駿佑 村上 裕雄 熱田 互 飯田 浩雅 *石川 明子 金杉 紀明 庫山 未希 杉山 道紀 田川 剛士 富田 行秀 中島 光 深澤 正幹 細野 隆也 山本 憲廣 壹岐 宏二 岩井 仁寿 岩井 啓寿 木村 大直 小泉 也徳 小西 美宜 須原 秀 関根 哲子 常田 幸 富久 田 梢 並木 泰次 若松 尚吾 *塚原 弾 高橋 知多 中澤 弘貴 辻本 真規 菅原 佳広 小嶋 康世</p>
2026/10/29 (木) 4時限 14:50~16:20	修復実習㉖: 2級 コンポジットレジン 修復 (25:M O)	<p>【授業の一般目標】</p> <p>Minimal intervention (MI) dentistryに基づく2級コンポジットレジン修復が行えるようになるために、適切なる蝕除去、隔壁の設置、接着操作とレジン充填および研磨について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 適切なチェアーポジションが取れる。 3. ラバーダム防湿 (連続防湿) ができる。 4. プレウエッジによる修復前準備ができる。 5. セクショナルマトリックスとリング状リテーナーによる隔壁設置ができる。 6. 適切な接着操作ができる。 7. 積層充填法による2級コンポジットレジン充填ができる。 8. 2級コンポジットレジン充填の形態修正と仕上げ研磨が行える。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前学修項目: 実習マニュアルに記載された実習動画 (QRコード参照) を事前に視聴すること。 ・事前学修時間: 30分 ・事後学修項目: 実習内容 (術式、使用器具、製作物評価など) の振り返りを行なうこと。 ・事後学修時間: 30分 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング: 反転授業 学修媒体: 実習マニュアル、実習動画、マルチメディア</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>303教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 a 直接修復法</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】</p> <p>歯科医学総論 総論VII 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 a 歯の硬組織疾患の治療</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ②minimal intervention <MI>に基づく歯科治療の意義、臨床的対応を説明できる。 ③修復材料とその取扱い、修復法の適応を説明できる。 ④修復に必要な前処置の目的と意義を説明できる。</p>	<p>*小峯 千明 *内山 敏一 *神谷 直孝 *寺中 文子 *庫川 幸利 *山崎 陽祐 久米 駿佑 村上 裕雄 熱田 互 飯田 浩雅 *石川 明子 金杉 紀明 庫山 未希 杉山 道紀 田川 剛士 富田 行秀 中島 光 深澤 正幹 細野 隆也 山本 憲廣 壹岐 宏二 岩井 仁寿 岩井 啓寿 木村 大直 小泉 也徳 小西 美宜 須原 秀 関根 哲子 常田 幸 富久 田 梢 並木 泰次 若松 尚吾 *塚原 弾 高橋 知多 中澤 弘貴 辻本 真規 菅原 佳広 小嶋 康世</p>
2026/11/05 (木)	修復講義㉗: グラ	【授業の一般目標】	*小峯 千明

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2時限 10:40～12:10	スアイオノマーセメント修復と非侵襲的修復技法 (ART)	<p>歯の硬組織欠損を適切に修復するために、グラスアイオノマーセメントの適応症、特徴、術式およびARTの目的と使用材料について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. グラスアイオノマーセメント修復の適応症について説明できる。 3. グラスアイオノマーセメント修復の特徴について説明できる。 4. 従来型グラスアイオノマーセメントの材料の特徴について説明できる。 5. レジン添加型グラスアイオノマーセメントの材料の特徴について説明できる。 6. グラスアイオノマーセメント修復の術式について説明できる。 7. 根面う蝕の処置方針について説明できる。 8. 非侵襲的修復技法 (ART) の目的と術式について説明できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前学修項目：保存修復学第7版、pp. 170～177を読んでおく。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料の復習と関連する歯科医師国家試験過去問題の解答 ・事後学修時間：30分 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング：なし 学修媒体：配布プリント、マルチメディア</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>303教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 a 直接修復法</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】</p> <p>歯科医学総論 総論Ⅷ 歯科材料と歯科医療機器 5 成形修復・予防填塞・歯内療法用材料 ア 成形修復用材料 b グラスアイオノマーセメント、レジン添加型グラスアイオノマーセメント</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>D 歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 ①成形修復・予防填塞用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ②minimal intervention <MI>に基づく歯科治療の意義、臨床的対応を説明できる。 ③修復材料とその取扱い、修復法の適応を説明できる。 ④修復に必要な前処置の目的と意義を説明できる。</p>	*小峯 千明
2026/11/05 (木) 3時限 13:10～14:40	修復実習⑦：クサビ状欠損に対するコンポジットレジン修復 (13:WSD)、歯肉排除	<p>【授業の一般目標】</p> <p>クサビ状欠損に対してコンポジットレジン修復が行えるようになるために、適切な接着操作とコンポジットレジン充填および研磨について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 適切なチェアーポジションが取れる。 3. クサビ状欠損に対する適切な窩洞形成ができる。 4. 簡易防湿ができる。 5. 歯肉排除ができる。 6. クサビ状欠損窩洞にコンポジットレジン充填ができる。 7. 形態付与ができる。 8. 仕上げ研磨ができる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前学修項目：実習マニュアルに記載された実習動画 (QRコード参照) を事前に視聴すること。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：実習内容 (術式、使用器具、製作物評価など) の振り返りを行なうこと。 ・事後学修時間：30分 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング：なし 学修媒体：実習マニュアル、マルチメディア</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>303教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 a 直接修復法</p>	*小峯 千明 *内山 敏一 *神谷 直孝 *寺中 文子 *庫川 幸利 *山崎 陽祐 久米 駿佑 村上 裕雄貴 熱田 互 飯田 浩雅 *石川 明子 金杉 紀明 庫山 未希 杉山 道紀 田川 剛士 富田 行秀 中島 光 深澤 正幹 細野 隆也 山本 憲廣 壹岐 宏二 岩井 仁寿 岩井 啓寿 木村 大 小泉 直也 小西 美徳 須原 秀宜 関根 哲子 常田 幸齊 富久田 梢 並木 泰次 若松 尚吾 *塚原 弾 高橋 知多香 中澤 弘貴 辻本 真規 菅原 佳広 小嶋 康世

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/11/05 (木) 3時限 13:10~14:40	修復実習㉗:クサビ状欠損に対するコンポジットレジン修復(13:WSD)、歯肉排除	<p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 a 歯の硬組織疾患の治療</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ①齶蝕その他の歯の硬組織疾患(tooth wear(酸蝕症、咬耗、摩耗等)、生活歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む)の症状、検査法、診断及び処置法(再石灰化療法を含む)を説明できる。 ②minimal intervention <MI>に基づく歯科治療の意義、臨床的対応を説明できる。 ③修復材料とその取扱い、修復法の適応を説明できる。 ④修復に必要な前処置の目的と意義を説明できる。 ⑥窩洞形成の意義と方法を説明できる。</p>	*小峯 千明 *内山 敏一 *神谷 直孝 *寺中 文子 *庫川 幸利 *山崎 陽祐 久米 駿佑 村上 裕雄 熱田 互 飯田 浩雅 *石川 明子 金杉 紀明 庫山 未希 杉山 道紀 田川 剛士 富田 行秀 中島 光 深澤 正幹 細野 隆 山本 憲 壹岐 宏 岩井 仁 岩井 啓 木村 大 小泉 直 小西 美徳 須原 秀宜 関根 哲 常田 幸 富久 田 梢 並木 泰次 若松 尚 *塚原 弾 高橋 知多 中澤 弘貴 辻本 真規 菅原 佳広 小嶋 康世
2026/11/05 (木) 4時限 14:50~16:20	修復実習㉘:クサビ状欠損に対するコンポジットレジン修復(14:WSD)、歯肉排除	<p>【授業の一般目標】 クサビ状欠損に対してコンポジットレジン修復が行えるようになるために、適切な接着操作とコンポジットレジン充填および研磨について理解する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 適切なチェアポジションが取れる。 3. クサビ状欠損に対する適切な窩洞形成ができる。 4. 簡易防湿ができる。 5. 歯肉排除ができる。 6. クサビ状欠損窩洞にコンポジットレジン充填ができる。 7. 形態付与ができる。 8. 仕上げ研磨ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目:実習マニュアルに記載された実習動画(QRコード参照)を事前に視聴すること。 ・事前学修時間:30分 ・事後学修項目:実習内容(術式、使用器具、製作物評価など)の振り返りを行なうこと。 ・事後学修時間:30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング:なし 学修媒体:実習マニュアル、マルチメディア</p> <p>【学修方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 303教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 a 直接修復法</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 a 歯の硬組織疾患の治療</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ①齶蝕その他の歯の硬組織疾患(tooth wear(酸蝕症、咬耗、摩耗等)、生活歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む)の症状、検査法、診断及び処置法(再石灰化療法を含む)を説明できる。 ②minimal intervention <MI>に基づく歯科治療の意義、臨床的対応を説明できる。 ③修復材料とその取扱い、修復法の適応を説明できる。 ④修復に必要な前処置の目的と意義を説明できる。</p>	*小峯 千明 *内山 敏一 *神谷 直孝 *寺中 文子 *庫川 幸利 *山崎 陽祐 久米 駿佑 村上 裕雄 熱田 互 飯田 浩雅 *石川 明子 金杉 紀明 庫山 未希 杉山 道紀 田川 剛士 富田 行秀 中島 光 深澤 正幹 細野 隆 山本 憲 壹岐 宏 岩井 仁 岩井 啓 木村 大 小泉 直 小西 美徳 須原 秀宜 関根 哲 常田 幸 富久 田 梢 並木 泰次 若松 尚 *塚原 弾 高橋 知多 中澤 弘貴 辻本 真規 菅原 佳広 小嶋 康世

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/11/05 (木) 4時限 14:50～16:20	修復実習⑧：クサビ状欠損に対するコンポジットレジン修復（14：WSD）、歯肉排除	⑥窩洞形成の意義と方法を説明できる。	*小峯 千明 *内山 敏一 *山谷 直孝 *神谷 文子 *寺中 幸利 *庫川 陽祐 *山崎 駿佑 久米 裕雄 村上 互貴 熱田 浩雅 飯田 石川 明子 *金杉 紀明 庫山 未希 山山 道紀 田川 剛士 富田 行秀 中島 光正 深澤 幹也 細野 隆憲 山本 廣二 壹岐 宏仁 岩井 仁寿 岩井 啓大 木村 直也 小泉 美徳 小西 秀宜 須原 哲幸 関根 田次 常富 泰次 富田 尚吾 並木 松塚 若原 多香 *高橋 知弘 中澤 弘貴 辻本 真規 菅原 佳広 小嶋 康世
2026/11/12 (木) 2時限 10:40～12:10	修復講義⑨：ベニア修復とセラミック（コンポジットレジン）インレー修復窩洞の特徴とレジンコーティング	<p>【授業の一般目標】 臼歯部欠損修復のうち審美的間接修復が行えるようになるために、セラミック（コンポジットレジン）インレー修復窩洞の具備条件とレジンコーティングについて理解する。前歯部の審美修復が行えるようになるために、ラミネートベニア修復とコンポジットレジンダイレクトベニア修復の特徴と臨床手順について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. セラミックインレー修復とコンポジットレジンインレー修復の特徴と適応症について説明できる。 3. セラミック（コンポジットレジン）インレー修復の術式について説明できる。 4. セラミック（コンポジットレジン）インレー窩洞の特徴について説明できる。 5. レジンコーティング法の目的について説明できる。 6. レジンコーティング法の術式について説明できる。 7. レジンコーティング後の印象採得の注意点について説明できる。 8. レジンコーティング後の適切な仮封材について説明できる。 9. ラミネートベニア修復の特徴と手順について説明できる。 10. コンポジットレジンダイレクトベニア修復の特徴と手順について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：保存修復学第7版、pp. 207～231を読んでおく。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料の復習と関連する歯科医師国家試験過去問題の解答 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 学修媒体：配布プリント、マルチメディア</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 303教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 b 間接修復法</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 c 窩洞形成法 歯科医学総論 総論Ⅷ 歯科材料と歯科医療機器 6 歯冠修復・義歯用材料 イ セラミック材料 a 陶材</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	*小峯 千明

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/11/12 (木) 2時限 10:40～12:10	修復講義㉕：ベニア修復とセラミック（コンポジットレジン）インレー修復窩洞の特徴とレジンコーティング	E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3- (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ⑥窩洞形成の意義と方法を説明できる。 ⑤歯髄保護の意義、種類と方法を説明できる。 ③修復材料とその取扱い、修復法の適応を説明できる。	*小峯 千明
2026/11/12 (木) 3時限 13:10～14:40	修復講義㉖：セラミック（コンポジットレジン）インレーの製作法と光学印象	【授業の一般目標】 臼歯部欠損修復のうち審美的間接修復が行えるようになるために、セラミック（コンポジットレジン）インレー修復の製作法について学ぶ。 【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. セラミックインレー修復とコンポジットレジンインレー修復の特徴と適応症について説明できる。 3. セラミック（コンポジットレジン）インレー修復の術式について説明できる。 4. セラミック（コンポジットレジン）インレー窩洞の特徴について説明できる。 5. レジンコーティング法の目的について説明できる。 6. レジンコーティング法の術式について説明できる。 7. レジンコーティング後の印象採得の注意点について説明できる。 8. レジンコーティング後の適切な仮封材について説明できる。 9. セラミック（コンポジットレジン）インレーの製作法について説明できる。 10. 光学印象について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：保存修復学第7版、pp. 207～229を読んでおく。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料の復習と関連する歯科医師国家試験過去問題の解答 ・事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 学修媒体：配布プリント、マルチメディア 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 303教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 b 間接修復法 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 c 窩洞形成法 歯科医学総論 総論Ⅷ 歯科材料と歯科医療機器 6 歯冠修復・義歯用材料 イ セラミック材料 a 陶材 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3- (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ⑥窩洞形成の意義と方法を説明できる。 ⑤歯髄保護の意義、種類と方法を説明できる。	*小峯 千明
2026/11/12 (木) 4時限 14:50～16:20	修復実習㉗実技試験2（隔壁法）	【授業の一般目標】 2級コンポジットレジン修復を行うための修復操作を行う。 【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. コンポジットレジン修復における2級窩洞の隔壁設置ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：実習マニュアルに記載された実習動画（QRコード参照）を事前に視聴すること。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：実習内容（術式、使用器具、製作物評価など）の振り返りを行なうこと。 ・事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：反転授業 学修媒体：実習マニュアル、実習動画、マルチメディア 【学修方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】 303教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論	*小峯 千明 *内山 敏一 *神谷 直孝 *寺中 文子 *庫川 幸利 *山崎 陽祐 久米 駿佑 村上 裕雄貴 熱田 互 飯田 浩雅 *石川 明子 金杉 紀明 庫山 未希 杉山 道紀 田川 剛士 富田 行秀 中島 光 深澤 正幹 細野 隆也 山本 憲廣 壹岐 宏二 岩井 仁寿 岩井 啓寿 木村 大 小泉 直也 小西 美德 須原 秀宜

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/11/12 (木) 4時限 14:50～16:20	修復実習⑳実技試験2(隔壁法)	各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 b 間接修復法 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ③修復材料とその取扱い、修復法の適応を説明できる。 ⑦仮封の意義、種類及び特徴を説明できる。	関根 哲子 常田 幸齊 富久田 梢 並木 泰次 若松 尚吾 *塚原 弾 高橋 知多香 中澤 弘貴 辻本 真規 菅原 佳広 小嶋 康世
2026/11/19 (木) 2時限 10:40～12:10	修復講義㉑:まとめ講義	【授業の一般目標】 修復講義㉑～㉒の内容を正しく理解し説明できる。 【行動目標(SBOs)】 1. これまでの講義・実習内容を正しく理解し適切にインプットできる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: 講義㉑～㉒の内容について講義資料の復習をする。 ・準備学修時間: 60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: なし 学修媒体: 実習動画、マルチメディア 【学修方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 303教室、第2実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 b 間接修復法 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ⑥窩洞形成の意義と方法を説明できる。 ④修復に必要な前処置の目的と意義を説明できる。 ⑦仮封の意義、種類及び特徴を説明できる。	*庫川 幸利 *小峯 千明 *内山 敏一 *寺中 文子 *神谷 直孝 *山崎 陽祐
2026/11/19 (木) 3時限 13:10～14:40	修復平常試験5・解説講義	【授業の一般目標】 平常試験1～4の低正答率問題と修復講義㉑～㉒の講義内容に関する知識の定着と理解度を評価するために、MCQによる試験を行う。試験終了後、出題内容について解説講義を実施する。 【行動目標(SBOs)】 1. これまでの講義内容を正しく理解し適切にアウトプットできる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目: 修復講義㉑～㉒の範囲の復習 ・事前学修時間: 360分 ・事後学修項目: 平常試験1の見直し ・事後学修時間: 30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: なし 学修媒体: 教科書、配布資料 【学修方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 303教室、第2実習室	*寺中 文子 *小峯 千明 *内山 敏一 *神谷 直孝 *庫川 幸利 *山崎 陽祐
2026/11/19 (木) 4時限 14:50～16:20	修復講義㉒:試験解説	【授業の一般目標】 平常試験1から5の試験解説を行う。 【行動目標(SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 平常試験の低正答率の問題を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目: 実習マニュアルに記載された実習動画(QRコード参照)を事前に視聴すること。 ・事前学修時間: 30分 ・事後学修項目: 実習内容(術式、使用器具、製作物評価など)の振り返りを行なうこと。 ・事後学修時間: 30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: 反転授業 学修媒体: 実習マニュアル、実習動画、マルチメディア 【学修方略(LS)】	*小峯 千明 *内山 敏一 *神谷 直孝 *寺中 文子 *庫川 幸利 *山崎 陽祐 久米 駿佑 村上 裕雄貴

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/11/19 (木) 4時限 14:50~16:20	修復講義⑧: 試験解説	<p>実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 303教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 b 間接修復法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ③修復材料とその取扱い、修復法の適応を説明できる。 ⑦仮封の意義、種類及び特徴を説明できる。</p>	<p>*小峯 千明 *内山 敏一 *神谷 直孝 *寺中 文子 *庫川 幸利 *山崎 陽祐 久米 駿佑 村上 裕雄貴</p>
2026/11/26 (木) 3時限 13:10~14:40	修復実習⑩: コンポジットレジンインレー2級窩洞形成 (36:MO)、プレウエッジ	<p>【授業の一般目標】 臼歯部硬組織欠損をコンポジットレジンインレーで修復するために、窩洞形態に則った適切な窩洞形成について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 適切なチェアーポジションが取れる。 3. プレウエッジが行える。 4. 2級コンポジットレジンインレー窩洞の形成ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目: 実習マニュアルに記載された実習動画 (QRコード参照) を事前に視聴すること。 ・事前学修時間: 30分 ・事後学修項目: 実習内容 (術式、使用器具、製作物評価など) の振り返りを行なうこと。 ・事後学修時間: 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: 反転授業 学修媒体: 実習マニュアル、実習動画、マルチメディア</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 303教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 b 間接修復法</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 c 窩洞形成法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ⑤歯髄保護の意義、種類と方法を説明できる。 ⑥窩洞形成の意義と方法を説明できる。</p>	<p>*小峯 千明 *内山 敏一 *神谷 直孝 *寺中 文子 *庫川 幸利 *山崎 陽祐 久米 駿佑 村上 裕雄貴 熱田 互 飯田 浩雅 *石川 明子 金杉 紀明 庫山 未希 杉山 道紀 田川 剛士 富田 行秀 中島 光 深澤 正幹 細野 隆也 山本 憲廣 壹岐 宏二 岩井 仁寿 岩井 啓寿 木村 大 小泉 直也 小西 美徳 須原 秀宜 関根 哲子 常田 幸 富久 田 梢 並木 泰次 若松 尚吾 *塚原 弾 高橋 知多 中澤 弘貴 辻本 眞規 菅原 佳広 小嶋 康世</p>
2026/11/26 (木) 4時限 14:50~16:20	修復実習⑪: コンポジットレジンインレー2級窩洞形成 (36:MO) とレジンコーティング	<p>【授業の一般目標】 臼歯部硬組織欠損をコンポジットレジンインレーで修復するために、適切な窩洞形成と象牙質に対するレジンコーティングについて理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 適切なチェアーポジションが取れる。 3. プレウエッジが行える。 4. 2級コンポジットレジンインレー窩洞の形成ができる。 5. レジンコーティング法ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目: 実習マニュアルに記載された実習動画 (QRコード参照) を事前に視聴すること。 ・事前学修時間: 30分 ・事後学修項目: 実習内容 (術式、使用器具、製作物評価など) の振り返りを行なうこと。 ・事後学修時間: 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: 反転授業 学修媒体: 実習マニュアル、実習動画、マルチメディア</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p>	<p>*小峯 千明 *内山 敏一 *神谷 直孝 *寺中 文子 *庫川 幸利 *山崎 陽祐 久米 駿佑 村上 裕雄貴 熱田 互 飯田 浩雅 *石川 明子 金杉 紀明 庫山 未希 杉山 道紀 田川 剛士 富田 行秀 中島 光 深澤 正幹 細野 隆也 山本 憲廣 壹岐 宏二 岩井 仁寿 岩井 啓寿 木村 大 小泉 直也 小西 美徳</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/11/26 (木) 4時限 14:50～16:20	修復実習㉑：コン ポジットレジンイ ンレー2級窩洞形 成（36：MO） とレジンコーティ ング	<p>【場所（教室/実習室）】 303教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 b 間接修復法</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 c 窩洞形成法 d 象牙質・歯髄保護法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ⑤歯髄保護の意義、種類と方法を説明できる。 ⑥窩洞形成の意義と方法を説明できる。</p>	須原 秀宜 関根 哲子 常田 幸斉 富田 泰次 並木 梢 若松 素尚 *塚原 吾 高橋 知多 中澤 弘貴 辻本 真規 菅原 佳広 小嶋 康世
2026/12/03 (木) 2時限 10:40～12:10	修復講義㉒：接着 性レジンセメント	<p>【授業の一般目標】 間接修復法による修復物の接着が行えるようになるために、接着性レジンセメントの種類と特徴について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯科用合着用セメントの種類について説明できる。 3. レジンセメントの種類と組成について説明できる。 4. 無機合着用セメントの組成について説明できる。 5. レジンセメントによるレジンインレー体の接着操作について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：保存修復学第7版、pp. 181～89、242～245を読んでおく。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料の復習と関連する歯科医師国家試験過去問題の解答 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 学修媒体：配布プリント、マルチメディア</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 303教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 a 直接修復法</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅷ 歯科材料と歯科医療機器 8 接着処理・技術 イ 歯質接着処理 a エナメル質被着面処理 b 象牙質被着面処理 a セラミックス被着面処理 b コンポジットレジン被着面処理 9 装着用材料 ア 合着・接着用セメント a レジンセメント</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科医療機器（歯科材料・器械・器具） D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 ②歯冠修復・義歯用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ①齶蝕その他の歯の硬組織疾患（tooth wear（酸蝕症、咬耗、摩耗等）、生活歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む）の症状、検査法、診断及び処置法（再石灰化療法を含む）を説明できる。 ②minimal intervention <MI>に基づく歯科治療の意義、臨床的対応を説明できる。 ③修復材料とその取扱い、修復法の適応を説明できる。</p>	*小峯 千明
2026/12/03 (木) 3時限 13:10～14:40	修復実習㉒：コン ポジットレジンイ ンレー修復ーシ リコーン連合印象 採得・石膏注入ー	<p>【授業の一般目標】 コンポジットレジンインレー体を製作するために、コンポジットレジンインレー窩洞のシリコーン連合印象について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p>	*小峯 千明 *内山 敏一 *神谷 直孝 *寺中 文子 *川川 幸利

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/12/03 (木) 3時限 13:10～14:40	修復実習②:コン ポジットレジンイ ンレー修復ーシリ コン連合印象 採得・石膏注入ー	<p>1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. コンポジットレジンインレー窩洞のシリコン連合印象採得ができる。 3. 採得した印象材に石膏を注入できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目:実習マニュアルに記載された実習動画 (QRコード参照) を事前に視聴すること。 ・事前学修時間:30分 ・事後学修項目:実習内容 (術式、使用器具、製作物評価など) の振り返りを行なうこと。 ・事後学修時間:30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング:反転授業 学修媒体:実習マニュアル、実習動画、マルチメディア</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 303教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 b 間接修復法</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅷ 歯科材料と歯科医療機器 3 印象用材料 ウ 機能印象材</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ③修復材料とその取扱い、修復法の適応を説明できる。 ⑦仮封の意義、種類及び特徴を説明できる。</p>	<p>*山崎 陽祐 久米 駿佑 村上 裕雄貴 熱田 互 飯田 浩雅 *石川 明子 金杉 紀明 庫山 未希 杉山 道紀 田川 剛士 田富 行秀 中島 光 深澤 正幹 細野 隆 山本 憲 壹岐 宏 岩井 仁 岩井 啓寿 木村 大 小泉 直也 小西 美徳 須原 秀宜 関根 哲子 常田 幸 富久 田 梢 並木 泰次 若松 尚 *塚原 弾 高橋 知多香 中澤 弘貴 辻本 真規 菅原 佳広 小嶋 康世</p>
2026/12/03 (木) 4時限 14:50～16:20	修復実習③:コン ポジットレジンイ ンレー修復ー作 業模型トリミング・ 模型調整ー	<p>【授業の一般目標】 コンポジットレジンインレー体を製作するために、石膏模型の製作と咬合採得および仮封について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. コンポジットレジンインレー窩洞のシリコン連合印象採得ができる。 3. 咬合採得ができる。 4. 水硬性セメントを用いた仮封ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目:実習マニュアルに記載された実習動画 (QRコード参照) を事前に視聴すること。 ・事前学修時間:30分 ・事後学修項目:実習内容 (術式、使用器具、製作物評価など) の振り返りを行なうこと。 ・事後学修時間:30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング:反転授業 学修媒体:実習マニュアル、実習動画、マルチメディア</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 303教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 b 間接修復法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ③修復材料とその取扱い、修復法の適応を説明できる。 ⑦仮封の意義、種類及び特徴を説明できる。</p>	<p>*小峯 千明 *内山 敏一 *神谷 直孝 *寺中 文子 *庫川 幸利 *山崎 陽祐 久米 駿佑 村上 裕雄貴 熱田 互 飯田 浩雅 *石川 明子 金杉 紀明 庫山 未希 杉山 道紀 田川 剛士 田富 行秀 中島 光 深澤 正幹 細野 隆 山本 憲 壹岐 宏 岩井 仁 岩井 啓寿 木村 大 小泉 直也 小西 美徳 須原 秀宜 関根 哲子 常田 幸 富久 田 梢 並木 泰次 若松 尚 *塚原 弾 高橋 知多香 中澤 弘貴 辻本 真規 菅原 佳広 小嶋 康世</p>
2026/12/10 (木) 2時限 10:40～12:10	修復講義⑩:補修 修復、暫間的間接 修法 (IPC法)	<p>【授業の一般目標】 修復物の補修と深在性う蝕に対する歯髄の保存が行えるようになるために、異種材料に対する非着面の処理方法と手順および暫間的間接覆髄法 (IPC法) について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 異種材料に対する補修修復の接着メカニズムについて説明できる。 3. 補修修復の適応症について説明できる。 4. 補修修復の術式と器材について説明できる。</p>	<p>*小峯 千明</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/12/10 (木) 2時限 10:40～12:10	修復講義⑩：補修修復、暫間的間接修法（I P C法）	<p>5. 暫間的間接覆髄法（I P C法）の目的と術式および使用薬物について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前学修項目：保存修復学第7版、pp. 127～128、181～89、242～245を読むしておく。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料の復習と関連する歯科医師国家試験過去問題の解答 ・事後学修時間：30分 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング：なし 学修媒体：配布プリント、マルチメディア</p> <p>【学修方略（L S）】</p> <p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>303教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 e 補修修復</p> <p>【国家試験出題基準（副）】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 d 象牙質・歯髄保護法</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>D 歯科医療機器（歯科材料・器械・器具） D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 ②歯冠修復・義歯用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ①齶蝕その他の歯の硬組織疾患（tooth wear（酸蝕症、咬耗、摩耗等）、生活歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む）の症状、検査法、診断及び処置法（再石灰化療法を含む）を説明できる。 ②minimal intervention <MI>に基づく歯科治療の意義、臨床的対応を説明できる。 ③修復材料とその取扱い、修復法の適応を説明できる。 ④歯髄保護の意義、種類と方法を説明できる。</p>	*小峯 千明
2026/12/10 (木) 3時限 13:10～14:40	修復実習⑭：コンポジットレジンインレー体の窩洞への試適・調整	<p>【授業の一般目標】</p> <p>コンポジットレジンインレー体の適切な装着操作が行えるようになるために、レジンセメントの操作方法、操作手順、被着面処理、接着性レジンセメントによる接着および咬合調整、仕上げ研磨について理解する。</p> <p>【行動目標（S B O s）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 適切なチェアポジションが取れる。 3. コンポジットレジンインレー体の窩洞に対するコンタクトの調整ができる。 4. 多数歯ラバーダム防湿が出来る。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前学修項目：実習マニュアルに記載された実習動画（QRコード参照）を事前に視聴すること。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：実習内容（術式、使用器具、製作物評価など）の振り返りを行なうこと。 ・事後学修時間：30分 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング：反転授業 学修媒体：実習マニュアル、実習動画、マルチメディア</p> <p>【学修方略（L S）】</p> <p>実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>303教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 b 間接修復法</p> <p>【国家試験出題基準（副）】</p> <p>歯科医学総論 総論Ⅷ 歯科材料と歯科医療機器 6 歯冠修復・義歯用材料 エ 複合材料 a 間接修復用コンポジットレジン</p>	*小峯 千明 *内山 敏一 *神谷 直孝 *寺中 文子 *庫川 幸利 *山崎 陽祐 久米 駿佑 村上 裕雄 村田 互 熱田 浩雅 飯田 明子 *石川 紀明 金杉 未希 庫山 道紀 杉山 剛士 田川 行秀 富田 光 中島 正幹 深澤 隆也 細野 憲廣 山本 宏二 壹岐 仁寿 岩井 啓寿 岩井 大 木村 直也 小泉 美徳 小西 秀宜 須原 哲子 関根 幸斉 常田 幸 富田 梢 並木 泰次 若松 尚吾 *塚原 弾 高橋 知多 中澤 弘貴 辻本 真規 菅原 佳広 小嶋 康世

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/12/10 (木) 3時限 13:10~14:40	修復実習④:コン ポジットレジンイ ンレー体の窩洞へ の試適・調整	<p>【コアカリキュラム】 D 歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 ③接着・合着・仮着用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明 できる。 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ①齶蝕その他の歯の硬組織疾患 (tooth wear (酸蝕症、咬耗、摩耗等)、生活 歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む) の症状、検査法、診断及び処置法 (再石 灰化療法を含む) を説明できる。 ③修復材料とその取扱い、修復法の適応を説明できる。</p>	<p>*小峯 千明 *内山 敏一 *神谷 直孝 *寺中 文子 *庫川 幸利 *山崎 陽祐 久米 駿佑 村上 裕雄 熱田 互 飯田 浩雅 *石川 明子 *金杉 紀明 *庫山 未希 *杉山 道紀 *田川 剛士 *富田 行秀 *中島 光 *深澤 正幹 *細野 隆也 *山本 憲廣 *壹岐 宏二 *岩井 仁寿 *岩井 啓寿 *木村 大 *小泉 直也 *小西 美徳 *須原 秀宜 *関根 哲子 *常田 幸斉 *富久 田 梢 *並木 泰次 *若松 尚吾 *塚原 弾 *高橋 知多 *中澤 弘貴 *辻本 真規 *菅原 佳広 *小嶋 康世</p>
2026/12/10 (木) 4時限 14:50~16:20	修復実習⑤:コン ポジットレジンイ ンレー体の装着	<p>【授業の一般目標】 コンポジットレジンインレー体の適切な装着操作が行えるようになるために、 レジンセメントの操作方法、操作手順、被着面処理、接着性レジンセメントに よる接着および咬合調整、仕上げ研磨について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 多数歯ラバーダム防湿ができる。 3. レジンセメントによるレジンインレー体の接着操作について説明できる。 4. コンポジットレジンインレー体の内面処理ができる。 5. 適切な窩洞の歯面処理ができる。 6. 接着性レジンセメントによるコンポジットレジンインレー体の接着ができる。 7. コンポジットレジンインレー体装着後の咬合調整と仕上げ研磨ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目: 実習マニュアルに記載された実習動画 (QRコード参照) を事 前に視聴すること。 ・事前学修時間: 30分 ・事後学修項目: 実習内容 (術式、使用器具、製作物評価など) の振り返りを 行なうこと。 ・事後学修時間: 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: 反転授業 学修媒体: 実習マニュアル、実習動画、マルチメディア</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 303教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 b 間接修復法</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論VIII 歯科材料と歯科医療機器 6 歯冠修復・義歯用材料 エ 複合材料 a 間接修復用コンポジットレジン 8 接着処理・技術 イ 歯質接着処理 a エナメル質被着面処理 b 象牙質被着面処理 9 装着用材料 ア 合着・接着用セメント a レジンセメント</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 ③接着・合着・仮着用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明 できる。</p>	<p>*小峯 千明 *内山 敏一 *神谷 直孝 *寺中 文子 *庫川 幸利 *山崎 陽祐 久米 駿佑 村上 裕雄 熱田 互 飯田 浩雅 *石川 明子 *金杉 紀明 *庫山 未希 *杉山 道紀 *田川 剛士 *富田 行秀 *中島 光 *深澤 正幹 *細野 隆也 *山本 憲廣 *壹岐 宏二 *岩井 仁寿 *岩井 啓寿 *木村 大 *小泉 直也 *小西 美徳 *須原 秀宜 *関根 哲子 *常田 幸斉 *富久 田 梢 *並木 泰次 *若松 尚吾 *塚原 弾 *高橋 知多 *中澤 弘貴 *辻本 真規 *菅原 佳広 *小嶋 康世</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/12/10 (木) 4時限 14:50～16:20	修復実習⑤:コン ポジットレジンイ ンレー体の装着	E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ①齶蝕その他の歯の硬組織疾患 (tooth wear (酸蝕症、咬耗、摩耗等)、生活 歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む) の症状、検査法、診断及び処置法 (再石 灰化療法を含む) を説明できる。 ③修復材料とその取扱い、修復法の適応を説明できる。	*小峯 千明 *内山 敏一 *神谷 直孝 *寺中 文子 *庫川 幸利 *山崎 陽祐 久米 駿佑 村上 裕雄 熱田 互 飯田 浩雅 *石川 明子 *金杉 紀明 庫山 未希 杉山 未道 田川 剛士 富田 行秀 中島 光 深澤 正幹 細野 隆憲 山本 廣二 壹岐 宏 岩井 仁寿 岩井 啓寿 木村 大 小泉 直也 小西 美徳 須原 秀宜 関根 哲子 常田 幸齊 富久 田 梢 並木 泰次 若松 尚吾 *塚原 弾 高橋 知多 中澤 弘貴 辻本 真規 菅原 佳広 小嶋 康世
2026/12/17 (木) 2時限 10:40～12:10	修復講義⑩:補修 修復、暫間的間接 修法 (IPC法)	【授業の一般目標】 修復物の補修と深在性う蝕に対する歯髄の保存が行えるようになるために、異 種材料に対する非着面の処理方法と手順および暫間的間接覆髄法 (IPC法) について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 異種材料に対する補修修復の接着メカニズムについて説明できる。 3. 補修修復の適応症について説明できる。 4. 補修修復の術式と器材について説明できる。 5. 暫間的間接覆髄法 (IPC法) の目的と術式および使用薬物について説明で きる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目: 保存修復学第7版、pp. 127～128、181～89、242～245を讀ん でおく。 ・事前学修時間: 30分 ・事後学修項目: 授業時配布資料の復習と関連する歯科医師国家試験過去問題 の解答 ・事後学修時間: 30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: なし 学修媒体: 配布プリント、マルチメディア 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 303教室、第2実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 e 補修修復 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 d 象牙質・歯髄保護法 【コアカリキュラム】 D 歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 ②歯冠修復・義歯用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明で きる。 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ①齶蝕その他の歯の硬組織疾患 (tooth wear (酸蝕症、咬耗、摩耗等)、生活 歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む) の症状、検査法、診断及び処置法 (再石 灰化療法を含む) を説明できる。	*小峯 千明

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/12/17 (木) 2時限 10:40～12:10	修復講義⑩:補修修復、暫間的間接修法 (IPC法)	②minimal intervention <MI>に基づく歯科治療の意義、臨床的対応を説明できる。 ③修復材料とその取扱い、修復法の適応を説明できる。 ⑤歯髄保護の意義、種類と方法を説明できる。	*小峯 千明
2026/12/17 (木) 3時限 13:10～14:40	修復実習⑩:コンポジットレジンインレーの補修修復	<p>【授業の一般目標】 欠損が生じた修復物の補修ができるようになるために、補修修復に用いる処理材と器材および処置手順について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 適切なチェアポジションが取れる。 3. 異種材料に対する接着前処理を行うことができる。 4. コンポジットレジンインレーに対する補修修復に必要な処理剤を列挙できる。 5. コンポジットレジンインレーに対する補修修復の手順が説明できる。 6. コンポジットレジンインレーの辺縁破折に対する補修修復ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目: 実習マニュアルに記載された実習動画 (QRコード参照) を事前に視聴すること。 ・事前学修時間: 30分 ・事後学修項目: 実習内容 (術式、使用器具、製作物評価など) の振り返りを行なうこと。 ・事後学修時間: 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: 反転授業 学修媒体: 実習マニュアル、実習動画、マルチメディア</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 303教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 e 補修修復</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論VIII 歯科材料と歯科医療機器 8 接着処理・技術 イ 歯質接着処理 a エナメル質被着面処理 b 象牙質被着面処理</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 ②歯冠修復・義歯用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ②minimal intervention <MI>に基づく歯科治療の意義、臨床的対応を説明できる。 ③修復材料とその取扱い、修復法の適応を説明できる。</p>	*小峯 千明 *内山 敏一 *神谷 直孝 *寺中 文子 *庫川 幸利 *山崎 陽祐 久米 駿佑 村上 裕雄 村田 互 熱田 浩雅 飯田 浩雅 *石川 明子 金杉 紀明 庫山 未希 杉山 道紀 田川 剛士 富田 行秀 中島 光 深澤 正幹 細野 隆也 山本 憲廣 壹岐 宏二 岩井 仁寿 岩井 啓寿 木村 大直 小泉 也徳 小西 美徳 須原 秀宜 関根 哲子 常田 幸斉 富田 久田 並木 泰次 若松 尚吾 *塚原 弾 高橋 知多 中澤 弘貴 辻本 真規 菅原 佳広 小嶋 康世
2026/12/17 (木) 4時限 14:50～16:20	修復実習⑩:暫間的間接覆髄法 (IPC法)	<p>【授業の一般目標】 う蝕による硬組織欠損の適切な処置ができるようになるために、う蝕象牙質の識別と除去に使用する器具の使用法およびIPC法の術式について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 間接覆髄法と暫間的間接覆髄法の目的の違いについて説明できる。 3. 適切なチェアポジションが取れる。 4. ラバーダム防湿が実施できる。 5. う蝕の開拓と感染象牙質除去に使用する器具が選択できる。 6. 回転切削器具によるう蝕の開拓と感染象牙質の除去ができる。 7. 暫間的間接覆髄法に使用する薬物を列挙できる。 8. 暫間的間接覆髄法ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目: 実習マニュアルに記載された実習動画 (QRコード参照) を事前に視聴すること。 ・事前学修時間: 30分 ・事後学修項目: 実習内容 (術式、使用器具、製作物評価など) の振り返りを行なうこと。 ・事後学修時間: 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: 反転授業 学修媒体: 実習マニュアル、実習動画、マルチメディア</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 303教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p>	*小峯 千明 *内山 敏一 *神谷 直孝 *寺中 文子 *庫川 幸利 *山崎 陽祐 久米 駿佑 村上 裕雄 村田 互 熱田 浩雅 飯田 浩雅 *石川 明子 金杉 紀明 庫山 未希 杉山 道紀 田川 剛士 富田 行秀 中島 光 深澤 正幹 細野 隆也 山本 憲廣 壹岐 宏二 岩井 仁寿 岩井 啓寿 木村 大直 小泉 也徳 小西 美徳 須原 秀宜 関根 哲子 常田 幸斉 富田 久田 並木 泰次 若松 尚吾 *塚原 弾

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/12/17 (木) 4時限 14:50~16:20	修復実習⑳: 暫間的間接覆髄法 (I P C法)	<p>歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 d 象牙質・歯髄保護法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ⑤歯髄保護の意義、種類と方法を説明できる。</p>	高橋 知多香 中澤 弘貴 辻本 真規 菅原 佳広 小嶋 康世
2026/12/24 (木) 2時限 10:40~12:10	修復講義㉑: 実習まとめ講義	<p>【授業の一般目標】 後期実習で使用した器具・器材を適切に使用できるようになるために、その名称と使用目的および使用法について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. これまでの講義・実習内容を正しく理解し適切にインプットできる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: 実習⑮~㉑の内容について実習マニュアルや動画を視聴し復習しておく。 ・準備学修時間: 60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: なし 学修媒体: 実習動画、マルチメディア</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 303教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 b 間接修復法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ⑥窩洞形成の意義と方法を説明できる。 ④修復に必要な前処置の目的と意義を説明できる。 ⑦仮封の意義、種類及び特徴を説明できる。</p>	* 寺中 文子 * 小峯 千明 * 内山 敏一 * 神谷 直孝 * 庫川 幸利 * 山崎 陽祐
2026/12/24 (木) 3時限 13:10~14:40	修復実習㉒: 口頭試問2	<p>【授業の一般目標】 口頭試問の範囲: 修復実習⑮~㉑までの範囲</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 実習で学んだ修復術式について説明できる。 3. 実習で使用した器具の名称と用途について説明できる。 4. 症例に応じて適切な修復方法を選択し、その治療計画について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目: 修復実習⑮~㉑の範囲について復習しておくこと。 ・事前学修時間: 180分 ・事後学修項目: 口頭試問の内容について振り返りを行なうこと。 ・事後学修時間: 60分</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 303教室、第2実習室</p>	* 小峯 千明 * 内山 敏一 * 神谷 直孝 * 寺中 文子 * 庫川 幸利 * 山崎 陽祐 久米 駿佑 村上 裕雄 熱田 互貴 飯田 浩雅 * 石川 明子 金杉 紀明 庫山 未希 杉山 道紀 田川 剛士 福田 行秀 中島 光 深澤 正幹 細野 隆也 山本 憲廣 壹岐 宏二 岩井 仁寿 岩井 啓寿 木村 大 小泉 直也 小西 美徳 須原 秀宜 関根 哲子 常富 幸齊 富久 田 梢 並木 泰次 若松 尚吾 * 塚原 弾 高橋 知多香 中澤 弘貴 辻本 真規 菅原 佳広 小嶋 康世
2026/12/24 (木) 4時限 14:50~16:20	修復実習㉓: 口頭試問2	<p>【授業の一般目標】 口頭試問の範囲: 修復実習⑮~㉑までの範囲</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。</p>	* 小峯 千明 * 内山 敏一 * 神谷 直孝 * 寺中 文子 * 庫川 幸利

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/12/24 (木) 4時限 14:50~16:20	修復実習⑳：口頭 試問2	<p>2. 実習で学んだ修復術式について説明できる。 3. 実習で使用した器具の名称と用途について説明できる。 4. 症例に応じて適切な修復方法を選択し、その治療計画について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：修復実習⑯～㉑の範囲について復習しておくこと。 ・事前学修時間：180分 ・事後学修項目：口頭試問の内容について振り返りを行なうこと。 ・事後学修時間：60分</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 303教室、第2実習室</p>	<p>*山崎 陽祐 久米 駿佑 村上 裕雄貴 熱田 亙 飯田 浩雅 *石川 明子 金杉 紀明 庫山 未希 杉山 道紀 田川 剛士 富田 行秀 中島 光 深澤 正幹 細野 隆也 山本 憲廣 壹岐 宏二 岩井 仁寿 岩井 啓寿 木村 大直 小泉 也徳 小西 美宜 須原 秀子 関根 哲幸 常田 幸齊 富田 田 梢 並木 泰次 若松 尚吾 *塚原 弾 高橋 知多香 中澤 弘貴 辻本 真規 菅原 佳広 小嶋 康世</p>
2027/01/14 (木) 2時限 10:40~12:10	修復平常試験6・ 解説講義	<p>【授業の一般目標】 平常試験1～5の低正答率問題と修復講義㉒～㉔の講義内容に関する知識の定着と理解度を評価するために、MCQによる試験を行う。試験終了後、出題内容について解説講義を実施する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. これまでの講義内容を正しく理解し適切にアウトプットできる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：修復講義㉒～㉔の範囲の復習 ・事前学修時間：360分 ・事後学修項目：平常試験1の見直し ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング なし 学修媒体 教科書、配布資料</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 303教室、第2実習室</p>	<p>*小峯 千明 *内山 敏一 *神山 直孝 *寺中 文子 *庫川 幸利 *山崎 陽祐</p>

歯内療法学

年次	学期	学修ユニット責任者
3年次	通年	*神尾 直人 (歯内療法学)

学修ユニット 学修目標 (GIO)	う蝕の進行あるいは外傷によって歯の中心に存在している歯髄（軟組織：いわゆる歯の神経）に疾患（主に炎症）が生じる。また、生活力を失った歯髄は、根尖の歯周組織に新たな疾患を引き起こす。疾患に陥った歯髄を健康に回復あるいは歯髄を除去する処置、失活によって引き起こされた根尖の歯周組織の疾患を治癒し、歯の維持を図ることを目的とした学問である。歯の痛みや腫れを伴い、患者にとって非常に辛い疾患を適応とする分野であるため、適切な診断と処置を要求される。迅速に、的確に診断し、処置を行えるようになるために、歯内療法の知識、技能の基礎を習得する。
担当教員	*岡部 達、*神尾 直人
教科書	歯内治療学 第6版 興地隆史, 石井信之, 前田英史, 他 医歯薬出版
参考図書	エンドドンティクス 第6版 興地隆史, 石井信之, 北村知昭, 他 永末書店
評価方法 (EV)	平常試験①、②による評価を行う。学校感染症による欠席（公欠）以外は原則的に追再試験は実施しない。
学生への メッセージ オフィスアワー	kamio.naoto@nihon-u.ac.jp にて質問を受け付ける。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/09/09 (水) 4時限 14:50~16:20	歯内講義①：歯内療法概論・歯内療法で扱う疾患	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯髄疾患および根尖歯周疾患を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する 2. 歯髄疾患を説明できる。 3. 根尖歯周疾患を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯の構造を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、黒板、スライド</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 303教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 b 歯内療法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 ②歯髄・根尖性歯周疾患の病因と病態を説明できる。</p>	*岡部 達
2026/09/16 (水) 4時限 14:50~16:20	歯内講義②：歯の形態・歯髄の構造と機能	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯種別の歯根および歯髄の形態を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する 2. 歯内療法の処置の流れを説明できる。 3. 歯種別の歯根と歯髄の形態と特徴を説明できる。 4. 歯髄の構造と機能を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯冠および歯根の形態を説明できる。 歯の構造を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、黒板、スライド</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 303教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式</p>	*神尾 直人

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/09/16 (水) 4時限 14:50～16:20	歯内講義②：歯の形態・歯髓の構造と機能	b 歯内療法 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生及び構造と機能 ②歯種別の形態と特徴を説明できる。 ⑤歯髓の構造と機能を説明できる。	*神尾 直人
2026/09/30 (水) 4時限 14:50～16:20	歯内講義③歯髓炎の原因と分類	【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯髓炎の原因と分類と歯髓の知覚を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する 2. 歯髓炎の原因、進行、分類、診査法を説明できる。 3. 歯髓炎の進展の特徴を説明できる。 4. 象牙質知覚過敏症と歯髓炎の違いを説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・一般炎症の進展にかかわる物質を説明できる。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、黒板、スライド 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 303教室、第2実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髓・歯周組織の疾患 2 歯髓疾患・根尖性歯周疾患 ア 歯髓疾患・根尖性歯周疾患の病因と病態 a 歯髓疾患 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 ②歯髓・根尖性歯周疾患の病因と病態を説明できる。	*岡部 達
2026/10/07 (水) 4時限 14:50～16:20	歯内講義④根尖性歯周炎の原因と分類	【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、根尖性歯周炎の原因と分類を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する 2. 根尖性歯周炎の原因、進行、分類、診査法を説明できる。 3. 根尖性歯周炎の進展の特徴を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・一般炎症の進展にかかわる物質を説明できる。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、黒板、スライド 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 303教室、第2実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論III 病因、病態 2 口腔・顎顔面領域の疾患の病因・病態 ア 主な病因・病態 b 歯・歯周組織の疾患 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 ②歯髓・根尖性歯周疾患の病因と病態を説明できる。	*岡部 達
2026/10/14 (水) 4時限 14:50～16:20	歯内平常試験①：歯内講義①～④の範囲 (記述式試験)	【授業の一般目標】 歯内療法試験範囲：歯内講義①～④の範囲 【準備学修項目と準備学修時間】 歯内療法試験範囲：歯内講義①～④の範囲 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 303教室、第2実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論	*岡部 達 *神尾 直人

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/10/14 (水) 4時限 14:50～16:20	歯内平常試験①： 歯内講義①～④の 範囲（記述式試験）	総論Ⅲ 病因、病態 2 口腔・顎顔面領域の疾患の病因・病態 ア 主な病因・病態 b 歯・歯周組織の疾患	*岡部 達 *神尾 直人
2026/10/21 (水) 4時限 14:50～16:20	歯内講義⑤歯内治 療の臨床（歯髄保 存療法と歯髄除去 療法）	【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯髄保存療法と除去療法を修得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する 2. 炎症の基本的概念を説明できる。 3. 歯髄炎の種類と臨床症状を説明できる。 4. 歯髄炎の処置法を説明できる。 5. 間接覆髄法（直接・間接）の術式、薬剤を説明できる。 6. 暫時的間接覆髄法（IPC法）について説明できる。 7. 治癒機転を説明できる。 8. 歯髄切断法の適応症、術式を説明できる。 9. 抜髄法の適応症、術式を説明できる。 10. 除痛法について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 一般炎症の兆候を説明できる。 可逆性、不可逆性歯髄炎の兆候を説明できる。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、黒板、スライド 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 303教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅳ 主要症候 2 口腔・顎顔面の症候 ア 歯、歯髄・根尖歯周組織 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3-（2） 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法（直接覆髄法を含む）を説明できる（疾患の細胞レベルでの説明を含む）。 ④歯髄・根尖性歯周疾患の治療後の治癒機転と予後を説明できる。	*神尾 直人
2026/10/28 (水) 4時限 14:50～16:20	歯内講義⑥歯内治 療の臨床（感染根 管治療と根管充填）	【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、根尖性歯周炎の治療法および根管充填を修得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する 2. 根尖性歯周炎の臨床症状を説明できる。 3. 根尖性歯周炎の処置法を説明できる。 4. 肉芽と不良肉芽について説明できる。 5. 根管充填を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 一般炎症の兆候を説明できる。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、黒板、スライド 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 303教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 2 口腔・顎顔面領域の疾患の病因・病態 ア 主な病因・病態 b 歯・歯周組織の疾患 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3-（2） 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法（直接覆髄法を含む）を説明できる（疾患の細胞レベルでの説明を含む）。 ③歯髄・根尖性歯周疾患の治療時における合併症（偶発症）について、種類、処置及び予防を説明できる。 ④歯髄・根尖性歯周疾患の治療後の治癒機転と予後を説明できる。 ②根管充填の目的、時期及び方法を説明できる。	*神尾 直人
2026/11/04 (水) 4時限 14:50～16:20	歯内平常試験②： 歯内講義⑤～⑥の 範囲（記述式試験）	【授業の一般目標】 歯内療法試験範囲：歯内講義⑤～⑥の範囲 【準備学修項目と準備学修時間】	*岡部 達 *神尾 直人

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/11/04 (水) 4時限 14:50～16:20	歯内平常試験②: 歯内講義⑤～⑥の 範囲 (記述式試験)	歯内療法試験範囲: 歯内講義⑤～⑥の範囲 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: 無 【学修方略 (L S)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 303教室、第2実習室	*岡部 達 *神尾 直人
2026/11/26 (木) 2時限 10:40～12:10	歯内講義⑦: 平常 試験解説講義	【授業の一般目標】 歯内講義①～⑥で得られた理解を定着し理解を深めるために平常試験①②の試験問題の解説を行う。 【行動目標 (SBOs)】 1. これまでの講義内容を理解し、正しくアウトプットできる。 【準備学修項目と準備学修時間】 歯内講義①～⑥の見直し 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: 無 【学修方略 (L S)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 303教室、第2実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 2 口腔・顎顔面領域の疾患の病因・病態 ア 主な病因・病態 b 歯・歯周組織の疾患 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 ②歯髄・根尖性歯周疾患の病因と病態を説明できる。 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法 (直接覆髄法を含む) を説明できる (疾患の細胞レベルでの説明を含む)。	*岡部 達